



Kodak

コダック i4000 プラスシリーズスキャナー

ユーザーズガイド

概要 1-1

設置方法 2-1

スキャン 3-1

印字 4-1

メンテナンス 5-1

トラブルシューティング 6-1

付録

安全性について

ユーザへの注意事項

- スキャナーは 38.8 kg の重量に耐えられる頑丈な水平の作業面に置き、スキャナーの周囲には十分なスペースを確保してください。
- スキャナーを移動する場合、2 名でスキャナーを持ち上げて、安全な方法で運んでください。
- ほこりの多い場所や、湿気や蒸気の当たる場所にスキャナーを設置しないでください。感電または出火の危険があります。スキャナーは必ず室内の湿気のない場所でのみ使用してください。
- 電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。
- 機器の電源ソケットを外すときは、コードではなくプラグを持ってください。
- 電源コードがコンセントにしっかり接続されていることを確認してください。接続がゆるいと、感電または出火の危険があります。
- 電源コードを破損しないよう注意してください（結び目を作る、切り取る、改造するなどの行為を含む）。また、破損した電源コードは使用しないでください。感電または出火の危険があります。
- スキャナーは壁のコンセントに直接接続し、電源は正しく接地してください。スキャナーに延長ケーブルを使用しないでください。
- 電源コンセントの周辺には十分なスペースを空け、緊急時にすぐにプラグを外せるようにしてください。
- スキャナーが異常に熱い、異臭がする、煙が出る、異音がする場合は、使用を停止してください。スキャナーを即座に停止して、電源コードをコンセントから外してください。コダックサービスセンターにご連絡ください。
- 『ユーザズガイド』に記載された場合を除き、スキャナーを解体、修理または改造しないでください。
- 電源コードとインターフェースケーブルが接続されたままでスキャナーを移動しないでください。コードとケーブルが破損します。スキャナーを移動する前に、電源コードをコンセントから抜いてください。
- コダックが推奨するクリーニング手順に従ってください。エア、液体、ガススプレークリーナを使用してはなりません。これらのクリーナは、ほこり、汚れ、ゴミをスキャナー内の別の場所に移動させ、スキャナーの故障の原因となる可能性があります。
- 化学製品の安全データシート (MSDS) は、次のコダック Web サイトで入手できます。(www.kodak.com/go/msds)。ウェブサイトから MSDS にアクセスする場合、消耗品のカタログ番号を提示する必要があります。消耗品とカタログ番号については、このガイドの「オプションと消耗品」を参照してください。

ユーザやその管理者は、機械を操作するにあたり、常識的な注意を払う必要があります。注意事項として以下のものがあります（ただし、これに限りません）。

- 過度にゆったりした服装を避け、袖口のボタンは外さないようにしてください。
- 外れやすいアクセサリ、ブレスレット、大きな指輪、長いネックレスなどは身に付けないようにしてください。
- 髪の毛は、必要に応じてヘアネットを使用するか、長い髪は束ねるなどして、短くまとめます。
- 機械の周辺にある、引き込まれそうな物はすべて取り除きます。
- 時折十分な休憩を取って、集中力を保つようにします。
- 推奨するクリーニング用品以外は使用しないでください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。

業務監督者は、スキャナーまたはその他の機械の操作に関するルールに、上記のような予防措置を含めるようお願いします。

警告ラベル



注意：可動部品。接触を避けること。



注意：高温。接触を避けること。

環境に関する情報

- コダック i4000 プラスシリーズスキャナーは、世界各国の環境要件に対応できるよう設計されています。
- メンテナンスまたはサービス時に交換した消耗品の廃棄についてはガイドラインを参照してください。詳細については、地域の規定に従うか最寄のコダック代理店にお問い合わせください。
- この機器の廃棄は、環境への配慮から規制されている場合があります。リサイクルやリユースについては、地域の自治体にお問い合わせください（米国の場合は、www.kodak.com/go/scannerrecycling を参照してください）。
- 製品パッケージはリサイクル可能です。
- コダック i4000 シリーズスキャナーは国際エネルギースタープログラムに適合しており、出荷時にはスリープモードへの移行時間が 15 分に設定されています。

ヨーロッパ連合



このマークは、この製品を廃棄する際に、回収とリサイクルを行う適切な施設への送付が義務付けられていることを表します。本製品の収集/回収プログラムの詳細については、最寄のコダック代理店にお問い合わせください。または、www.kodak.com/go/recycle を参照してください。

REACH 規則 (EC) No. 1907/2006 第 59 (1) 条の対照リストに含まれる物質に関する情報については、www.kodak.com/go/REACH を参照してください。

騒音

Maschinenlärminformationsverordnung – 3, GSGV
Der arbeitsplatzbezogene Emissionswert beträgt <70 dB(A).
[Machine Noise Information Ordinance — 3, GSGV
操作者位置の騒音は <70dB(A) 以下。]

EMC 声明

米国：この装置は、FCC 規則の Part 15 に従った Class B デジタル装置に対する制限に適合していることが検査され、証明されています。これらの制限は、居住設備での有害な電波障害に対して適切な保護機能を提供するように設計されています。本製品は高周波エネルギーを発生させ、使用し、また放射することもあります。取扱説明書に従って設置、ご使用されない場合は、無線通信に有害な障害をもたらす可能性があります。ただし、取扱説明書に従って設置した場合でも障害が発生する可能性があります。この装置が無線通信またはテレビ受信の障害となる場合には（これは装置をオン/オフすることで判定できます）、次の 1 つ以上の方法で障害を改善されることをお勧めします。

- 受信アンテナの方向を変える、または場所を移動する。
- この装置と受信機との距離を広げる。
- この装置を、受信機が接続されている回線とは異なるコンセントに接続する。
- 取扱店または信頼できるラジオ/テレビ関係の技術者に問い合わせる。

準拠に対して責任を負う当事者の明示的な許可を得ないまま機器を改造または改変した場合は、機器を操作する権限を失う場合があります。製品に被覆インターフェースケーブルが同梱されている場合、または製品を設置する際に被覆インターフェースケーブルを追加コンポーネント/アクセサリとして使用するよう指定されている場合は、FCC 規制に準拠するためにそれらのケーブルを使用する必要があります。

韓国：この機器は家庭で使用するための EMC 登録を取得しており、住宅でご利用いただけます。

이 기기는 가정용으로 전자파적합등록을 한 기기로서 주거지역에서는 물론 모든 지역에서 사용할 수 있습니다.

日本：この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置を家庭環境でラジオやテレビジョン受信機の近くで使用すると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しいインストールと運用を実施してください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会 (VCCI) の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

1 概要

目次

参考資料.....	1-1
アクセサリ.....	1-2
同梱品一覧.....	1-2
スキャナーのコンポーネント.....	1-3

コダック i4000 プラスシリーズスキャナーには、以下のモデルがあります。



コダック i4200 プラスシリーズスキャナー— レターサイズ原稿を毎分 100 枚 (200 / 300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、横方向) 処理するデスクトップ用両面カラー スキャナーです。

コダック i4600 プラスシリーズスキャナー— レターサイズ原稿を毎分 120 枚 (200 / 300 dpi、白黒 / カラー / グレースケール、横方向) 処理するデスクトップ用両面カ

ラー スキャナーです。

この『ユーザーズガイド』では、コダック i4000 プラスシリーズスキャナーの使用および保守手順について説明します。特に指示がないかぎり、このガイドの情報は両モデルに該当します。

参考資料

この『ユーザーズガイド』以外に以下のマニュアルがあります。

- **インストールガイド** — スキャナーの設置を手順ごとに説明します。
- **スキャンセットアップガイド** — コダック i4000 プラスシリーズスキャナーには TWAIN データソースおよび ISIS ドライバが同梱されています。それぞれのスキャナー設定ガイドは、基本的なイメージ処理機能の使用方を説明します。両ガイドは PDF フォーマットでインストール CD に収録されています。これらのガイドは Web サイトからもダウンロードできます。
- **スマートタッチ ユーザーズガイド** — スマートタッチ機能の使用法に関する情報と手順を説明します。このガイドは、インストール CD に PDF ファイルで収録されています。これらのガイドは Web サイトからもダウンロードできます。
- **リファレンスガイド** — スキャナーの清掃手順を図解で示します。このガイドはスキャナーのそばにおいて置いて、いつでも参照できるようにしてください。

Web サイト : www.kodak.com/go/docimaging

アクセサリ

コダックプリンタアクセサリ — コダックプリンタアクセサリを使用すると、スキャンした原稿に情報を効果的に追加できます。プリンタは、スキャナーの最高速度で動作します。日付、時刻、ドキュメントカウンタ、固定文字列を印字できます。プリンタの機能は TWAIN データソースまたは ISIS ドライバからアクセスできます。

延長トレイ — 延長トレイは 43.2 cm 以上の原稿をスキャンするときに使用します。また、66.04 cm、76.2 cm、86.36 cm の長さに対応しています。

コダック薄紙専用フィーダキット — 25 g/m² ~ 80 g/m² kg の薄紙を給紙できます。薄紙専用フィーダキットには、フィードモジュールとセパレーションローラが含まれており、薄紙を給紙できるように特別に設計されています。

コダック A3 フラットベッドアクセサリ — コダック A3 フラットベッドを使って、11 x 17 インチ (A3) までの規格外の原稿をスキャンできるようになります。カタログ番号 179 6747

コダックリーガルフラットベッドアクセサリ — コダックリーガルフラットベッドを使って、規格外の原稿をスキャンできるようになります。
(最大：リーガル /216 x 356 mm (8.5 x 14 in.) に対応) CAT No. 119 9470

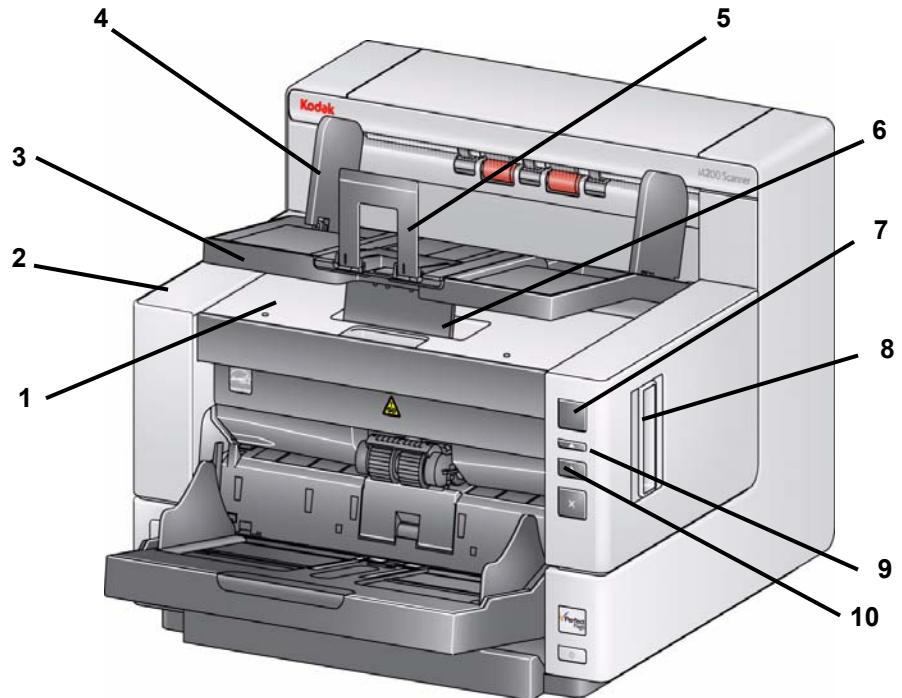
同梱品一覧

開梱と梱包品確認の前に

- コダック i4200 プラス /i4600 プラススキャナー
- 出力トレイ
- USB2.0 ケーブル
- AC 電源コード
- 以下の物品が入ったフォルダ
 - インストール CD
 - アプリケーション CD
 - 保証／登録シート
 - ユーザーズガイド (英語版)
 - リファレンスガイド (多言語)
 - インストールガイド
 - クリーニングキットのサンプル
 - サービス & サポートの問い合わせ先シート
 - その他のパンフレット (「国内連絡先詳細」や「製品保障の登録は使用しません」)

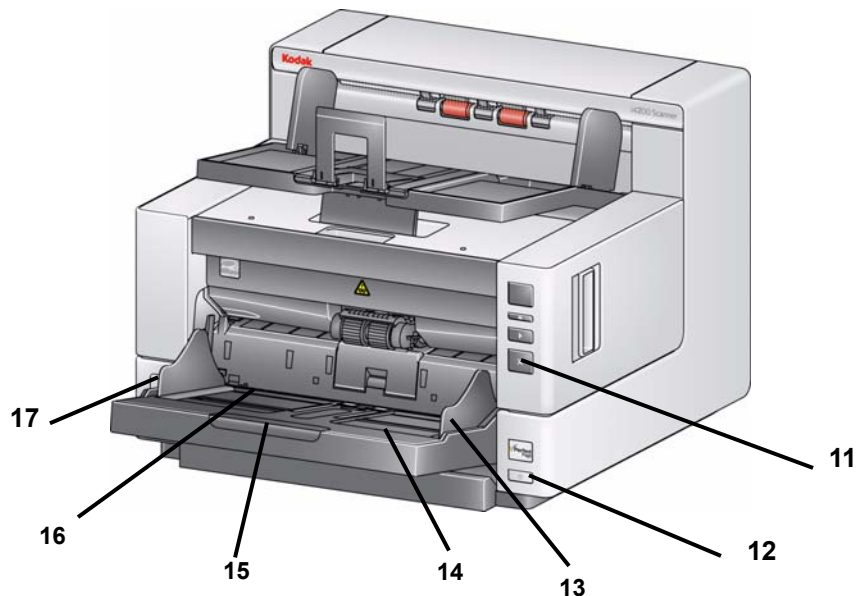
スキャナーのコンポーネント

前部



- 1 **プリンタアクセスカバー** — このカバーを開くと、フィードモジュールリリースノブとプリンタの位置の変更とメンテナンスができます。スキャナーのシリアル番号もその付近に記載されています。
- 2 **スキャナーカバー** — このカバーを開いて内部コンポーネントにアクセスします。
- 3 **出力トレイ** — スキャン済みの原稿を収納します。
- 4 **出力トレイのサイドガイド** — 書類サイズに合わせて内側や外側に調整したり、折りたたむことができます。
- 5 **原稿ストッパー** — 原稿をまとめやすくなります。このストッパーはスキャンする原稿のサイズに合わせて前後に動かしたり、折りたたむことができます。
- 6 **出力トレイの高さ調節タブ** — スキャン時に、このタブを使用して出力トレイの前部を持ち上げると、スムーズにスキャンできます。出力トレイを持ち上げると、このタブは自動的に外れてプリンタアクセスカバーに収まります。
- 7 **ファンクションウィンドウ** — 0～9までが表示されます。これらの番号は、事前設定された機能に対応します。そのほかにも、スキャナーの状態やオペレータの操作の説明も表示されます。詳細については、第 6 章を参照してください。
- 8 **スキャナーカバーリリースラッチ** — レバーを手前に引くと、スキャナーカバーが開きます。
- 9 **[スクロール] ボタン** — 定義された機能やスキャン用アプリケーションの確認や選択に使用します。

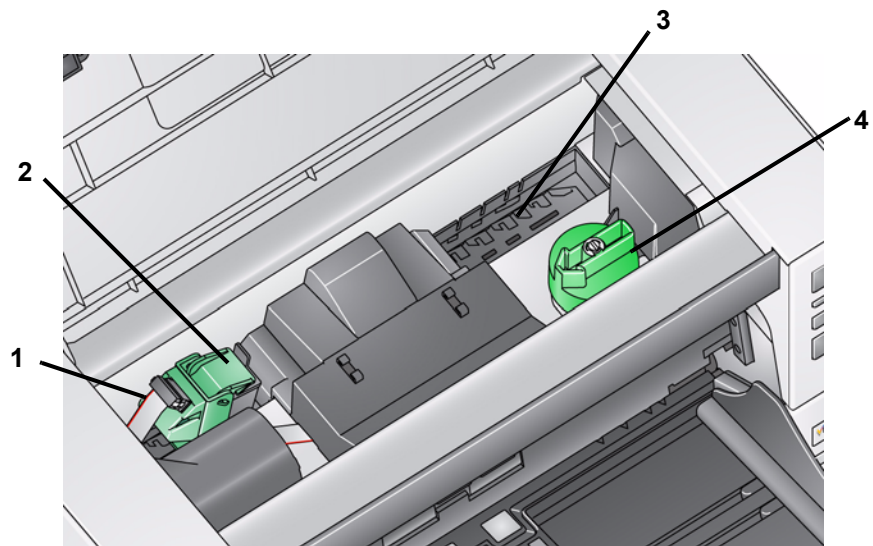
- 10 **[スタート/再開] ボタン** — このボタンを押すと、スキャンがスタートまたは再開します。緑色の LED でスキャナーの状態(電源が入り、スキャン準備が完了していること) が示されます。
- 11 **[停止/一時停止] ボタン** — 1 回押すとスキャンが一時停止します ([スタート/再開] ボタンを押すと、スキャンを再開します)。2 回押すと、スキャンが停止します。このボタンの赤色の LED が点灯すると、エラー(紙詰まり)が発生している可能性があります。
- 12 **[電源] ボタン** — このボタンを押すとスキャナーの電源が入り、1 秒以上押し続けると電源が切れます。
- 13 **入力エレベータのサイドガイド** — スキャンする原稿のサイズに合わせて、ガイドを内側や外側にスライドします。サイドガイドは、原稿の幅に合わせて、左、中央、右に調整できます。必要に応じて、サイドガイドを適切な位置にロックすることもできます。



- 14 **入力エレベータ** — 最大 500 枚までの原稿をセットできます (20 ポンド / 80 g/m²)。入力エレベータにセットする原稿の枚数は、25 枚、100 枚、250 枚、500 枚から選択できます。使用していないときは折りたたむことができます。
- 15 **入力エレベータエクステンション** — このエクステンションを引き出すと、35.6 cm 以上の長さの原稿をセットできます。
- 16 **印字位置インジケータ** — 入力エレベータの奥に印字位置を示す印があります。
- 17 **ギャップリリース切り替えスイッチ** — 特別な処理を必要とする原稿をスキャンする場合、このスイッチを押して、フィードモジュールとセパレーションモジュール間の隙間を調節します。

プリンタアクセスカバー内部

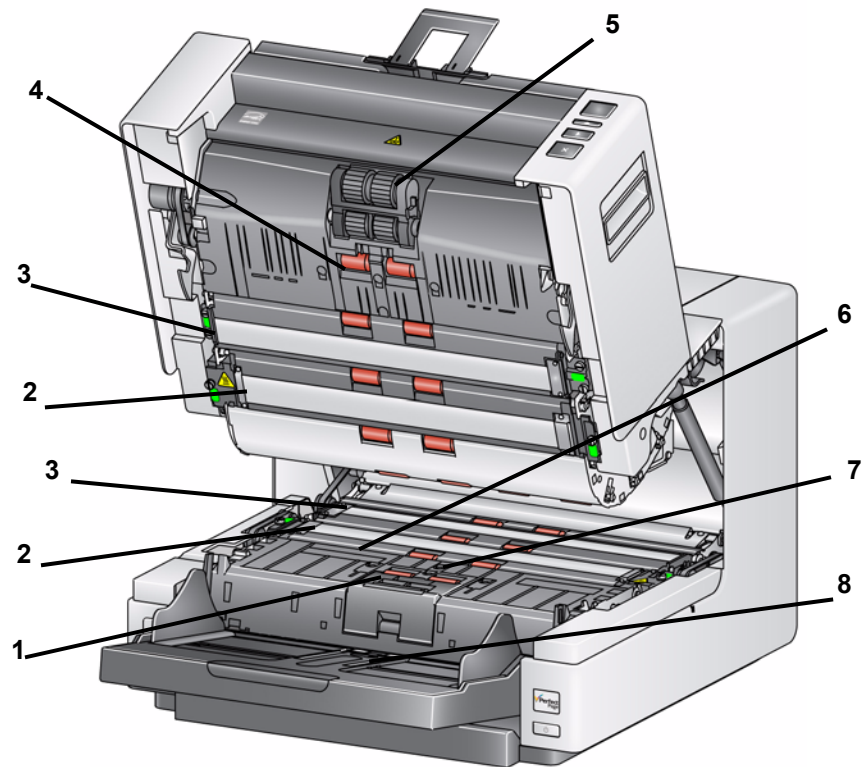
プリンタアクセサリを使用していない場合でも、スキャナーのこの部分にはアクセスする必要があります。フィードモジュールリリースノブはこの部分にあります。



- 1 **プリンタケーブル** — このケーブルを直接プリンタキャリアに接続すると、プリンタと通信が行えます。
- 2 **プリンタキャリア/カートリッジ** — 原稿の表面印字に使用します。プリンタアクセサリを取り付けた場合のみ使用できます。
- 3 **印字位置** — 8 か所の印字位置が選択できます。
- 4 **フィードモジュールリリースノブ** — このノブを回すと、フィードモジュールを取り外して清掃や交換ができます。リリースノブの矢印は、フィードモジュールの取り付け時は左向き、取り外し時には右向きになります。

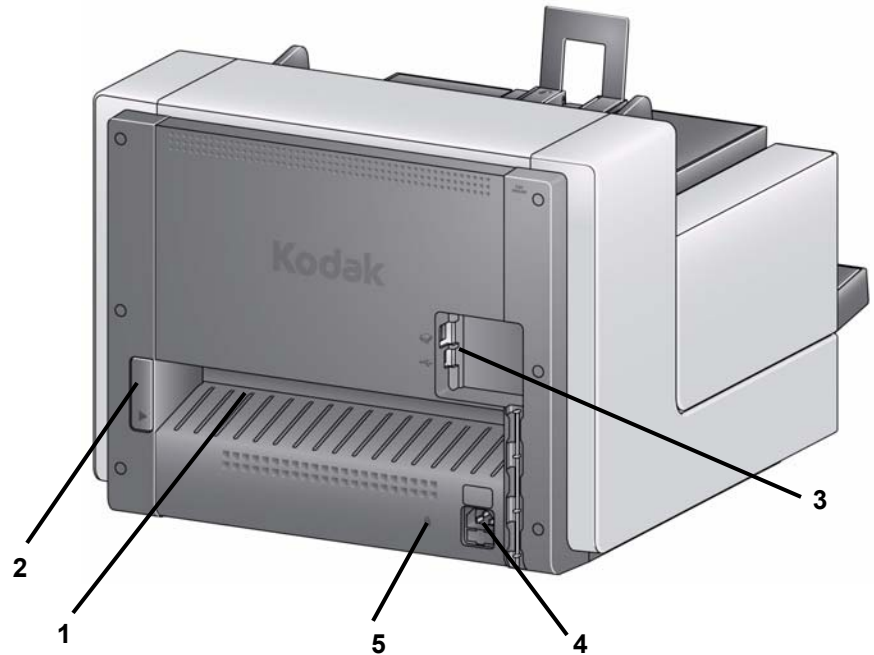
内部

スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引くと、以下のコンポーネントが見えます。



- 1 **セパレーションモジュール** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。
- 2 **イメージングガイド** — イメージ品質を最適に保つために、イメージングガイドは定期的クリーニングしてください。
- 3 **ブラック/ホワイトバックグラウンド** — アプリケーションソフトウェアから背景色を白や黒に変更できます。通常のスキャンの設定では、ブラックバックグラウンドが使用されます。薄紙の片面をスキャンする場合、ホワイトバックグラウンドを使用することを推奨します。詳細については、『ユーザーズガイド』の「イメージ処理 - TWAIN データソース/ISIS ドライバ」を参照してください。
- 4 **ローラ** — スキャナー内で原稿をスムーズに搬送します。
- 5 **フィードモジュール** — さまざまなサイズ、厚さ、素材の原稿をスムーズに給紙します。
- 6 **インクプロッタチャンネルとインクプロッタ** — オプションのプリンタアクセサリで空打ちしたインクは、チャンネルのインクプロッタに吸収されます。
- 7 **センサ** — 3ヶ所の超音波センサで搬送路を監視して、原稿の重送を検出します。
- 8 **用紙センサ** — 入力エレベータにセットした原稿を検出します。原稿がこのセンサの上にあると、スキャンを開始します。

後部



- 1 後部原稿排紙口** — 特別な処理を必要とする原稿をスキャナーの後部から排紙できます。
- 2 ストレートパス切替えスイッチ** — このスイッチを切り替えると、スキャナーはストレート搬送になり、特別な処理を必要とする原稿が後部の原稿排紙口から排紙されます。
- 3 USB ポート** — スキャナーを PC や他のオプションに接続します。
- 4 電源ポート** — 電源コードをスキャナーに接続します。
- 5 セキュリティロックポート** — セキュリティロックをスキャナーに接続します。標準的なセキュリティロックは、事務用品店などで入手できます。取り付け手順は、セキュリティロックの付属の手順書を参照してください。

2 設置方法

目次

スキャナーの接続	2-1
コダックドライバソフトウェアのインストール	2-2
出力トレイの取り付け	2-3
電源コードと USB ケーブルの接続	2-3
スキャナーの電源を入れる	2-4
スキャナーの電源を切る	2-4

スキャナーの接続

このセクションでは、スキャナーに付属の『インストールガイド』の詳細について説明します。これらの手順を順番に実行して、スキャナーを設置してください。

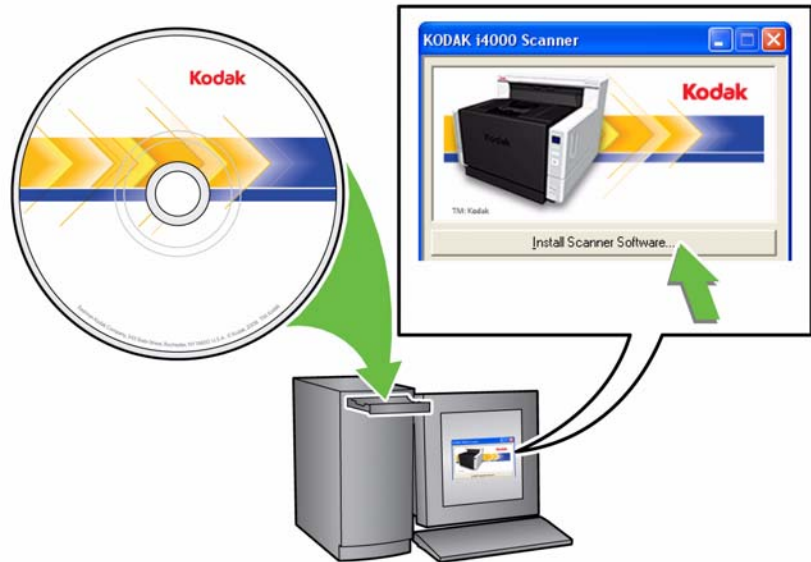
注：

- 『インストールガイド』のすべての手順を実行済みの場合、このセクションをスキップしてください。
- 後部原稿排紙口を使用する場合、スキャナー設置時にスキャナー後部に十分な空間を確保するよう注意してください。後部原稿排紙口については、第3章の「出力トレイの調整」のセクションを参照ください。

コダックドライバソフトウェアのインストール - Windows オペレーティングシステム

コダックドライバソフトウェアをインストールする前に、USB ケーブルを接続しないでください。

1. コダック i4000 シリーズスキャナーのインストール CD を CD-ROM ドライブに挿入します。インストールプログラムが自動的に起動します。
2. [スキャナーソフトウェアのインストール ...] を選択します。



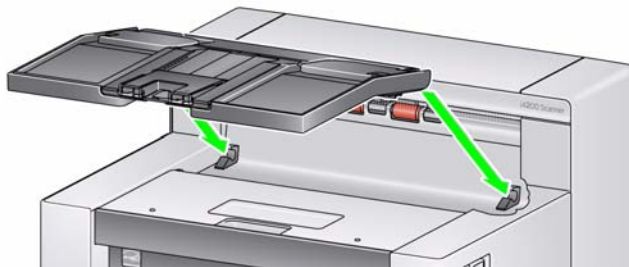
注：

- CD が自動的に起動しない場合、デスクトップ上のマイコンピュータアイコンを開きます。CD-ROM ドライブのアイコンをダブルクリックし、**Setup.exe** をダブルクリックします。
 - ***Portions of this application are already installed*** というメッセージが表示されたら、**[Yes]** をクリックしてインストール手順を続行します。これまでにインストールされたコダックスキャナーソフトウェアで、このスキャナーで共有されるものが更新されます。
3. [Welcome] 画面が表示されたら、**[Next]** をクリックします。
 4. ソフトウェアライセンス使用許諾を読み、**[I Agree]** をクリックします。インストールが始まり、進行状況が表示されます。
 5. インストールが完了したら、**[Finish]** をクリックします。
 6. インストール CD を CD-ROM ドライブから取り出します。

出力トレイの取り付け

コダック i4000 プラスシリーズスキャナーには、専用の箱に入った出力トレイが同梱されています。

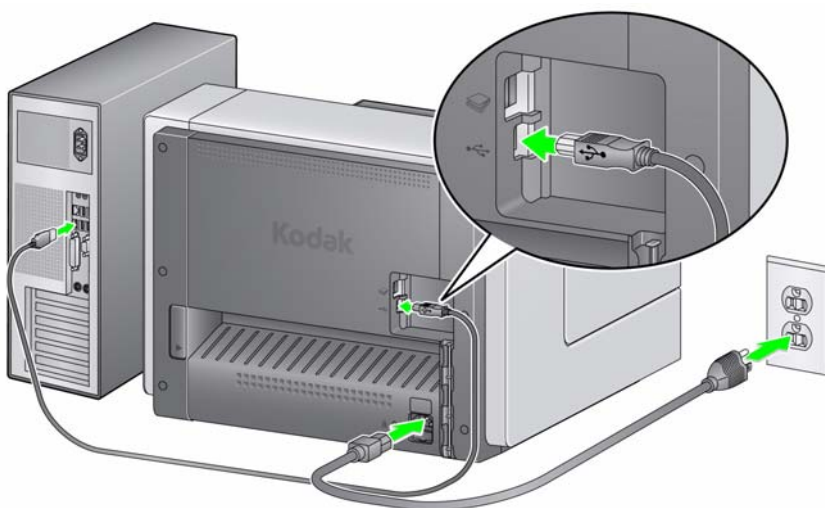
- スキャナー本体の出力トレイ用の溝を確認し、出力トレイを溝に合わせて正しく取り付けます。



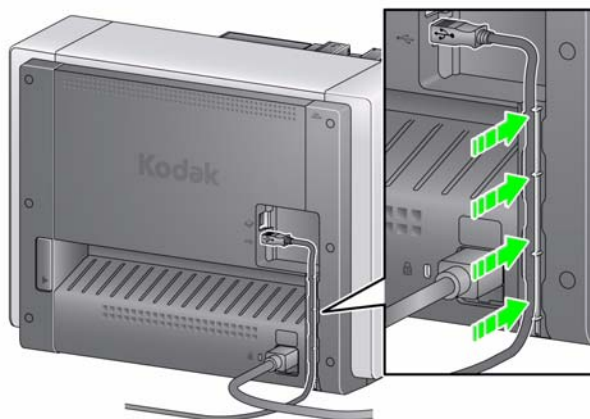
電源コードと USB ケーブルの接続

ドライバをインストールしたら、電源コードとスキャナーの USB ケーブルを接続します。以下の図を参考に正しく接続します。電源コンセントがスキャナーから 1.52 m 以内にあり、簡単に接続できることを確認してください。

1. スキャナーに同梱されている AC 電源コードから、PSE マークの刻印が入った電源コードを選択します。
2. 電源コードをスキャナーの電源ポートに接続します。しっかりと接続していることを確認してください。
3. 電源コードのプラグをコンセントに接続します。
4. USB ケーブルをスキャナーの USB ポートに接続します。
5. USB ケーブルのもう片方のコネクタを PC の USB ポートに接続します。

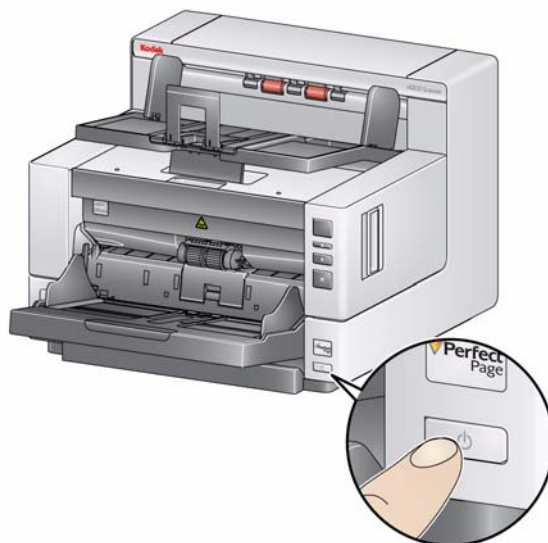


6. 電源コードと USB ケーブルをスキャナー後部のルーティングチャンネルで固定します。



スキャナーの電源を入れる

- [電源] ボタンを押します。



スキャナーが起動すると（入力エレベータが閉じている場合は開きます）、[スタート/再開] ボタンの緑色のインジケータが点滅して、セルフテストを実行します。

15 秒以内に電源投入シーケンスが完了し、スキャナーの準備が整います。

インストールが完了してスキャンの準備が整うと、[スタート/再開] ボタンの緑色の LED インジケータの点滅が点灯に変わり、ファンクションウィンドウに 1 が表示されます。他の番号が表示された場合、第 6 章の「LED のエラーコード」のセクションで、そのコードの説明を参照してください。

スキャナーの電源を切る

- [電源] ボタンを 1 秒以上押し続けます。

3 スキャン

目次	クイックスタート	3-1
	スキャナーの準備	3-1
	入力エレベータの調整	3-2
	延長トレイの取り付け	3-4
	出力トレイの調整	3-4
	原稿の準備	3-6
	スキャンアプリケーションの選択	3-7

クイックスタート

コダック i4000 プラスシリーズスキャナーは使いやすく、すばやくスキャンができるように設計されています。スキャンして PDF に変換する場合、原稿を入力エレベータにセットして、[スクロール] ボタンを押し、「2」が表示されたら [スタート/再開] ボタンを押すだけで非常に簡単です。

コダック i4000 プラスシリーズスキャナーの機能の詳細については、この章で説明します。

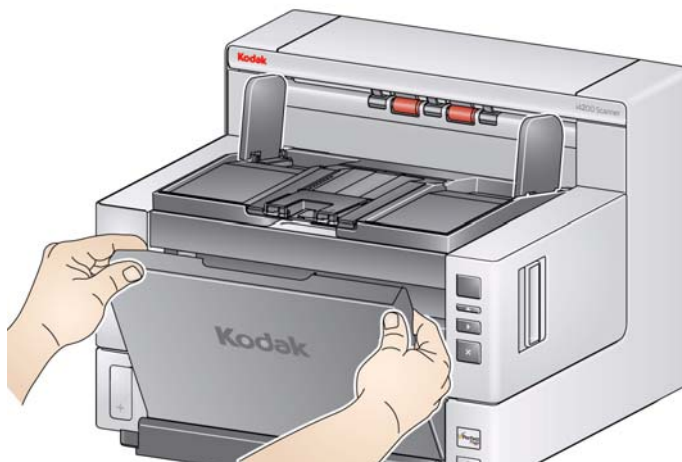
スキャナーの準備

1. スキャナーの電源が入っており、スキャンの準備が整っている（緑色のインジケータが点灯している）ことを確認します。
注：ファンクションコード（U1、U2 など）が表示されたら、[停止 / 一時停止] ボタンを押すと消去されます。
2. スキャン要件に合わせて入力エレベータを調整します。詳細については、「入力エレベータの調整」を参照してください。
3. スキャン要件に合わせて出力トレイを調整します。詳細については、「出力トレイの調整」を参照してください。
4. 使用するスキャンアプリケーションを選択します。スキャナーには、スマートタッチ機能とコダックキャプチャデスクトップソフトウェアが付属しています。

入力エレベータの調整

サイドガイドと入力エレベータの高さは、スキャン要件に合わせて調整できます。スキャナー未使用時は、入力エレベータは閉じることができます。

注：入力エレベータを閉じる前に、最も低い位置にしておく必要があります。

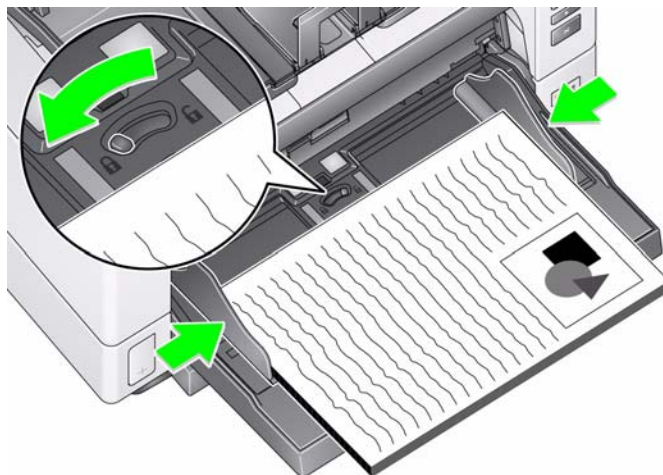


- **サイドガイドの調整** — サイドガイドは右端、左端、中央に調整して給紙できます。両方のサイドガイドを調整して中央から給紙することも、どちらか片方を動かして右側や左側にオフセット給紙することも可能です。サイドガイドを調整する前に、スイッチがロックの位置にないことを確認してください（以下参照）。

注：オプションのプリンタを使用する場合、文字列が正しい位置に印字されるように原稿をセットする必要があります。その場合、オフセットが必要な場合もあります。

- **サイドガイドのロック** — サイドガイドの調整後に位置をロックできます。印字文字列の位置が重要な場合に便利です。

サイドガイドをロックする場合は、入力エレベータから原稿を取り除き、スイッチを左側（ロックの位置）に切り替えます。



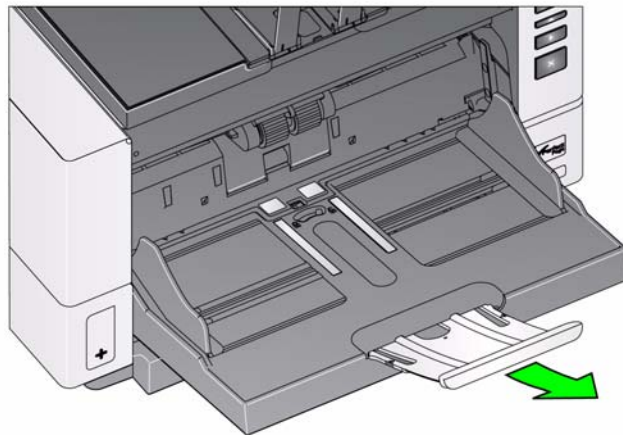
- **入力エレベータの高さの調整** — 入力エレベータは、20lb/80 g/m² の普通紙 25 枚、100 枚、500 枚の原稿をセットできる位置に調整できます。高さは、スキャンアプリケーションソフトウェア（TWAIN データソースまたは ISIS ドライバ）で設定します。

入力エレベータを 25 枚に設定すると、入力エレベータの位置は高いままで変化しません。100、250、500 枚に設定した場合、指定された枚数の原稿を給紙するために入力エレベータが自動的に上がり、原稿の給紙が完了すると自動的に下がります。

- **入力エレベータの調整**

- **35.6 cm までの長さの原稿** — 調整は必要ありません。

- **35.6 cm から 43.2 cm の長さの原稿** — 延長トレイを引き出します。



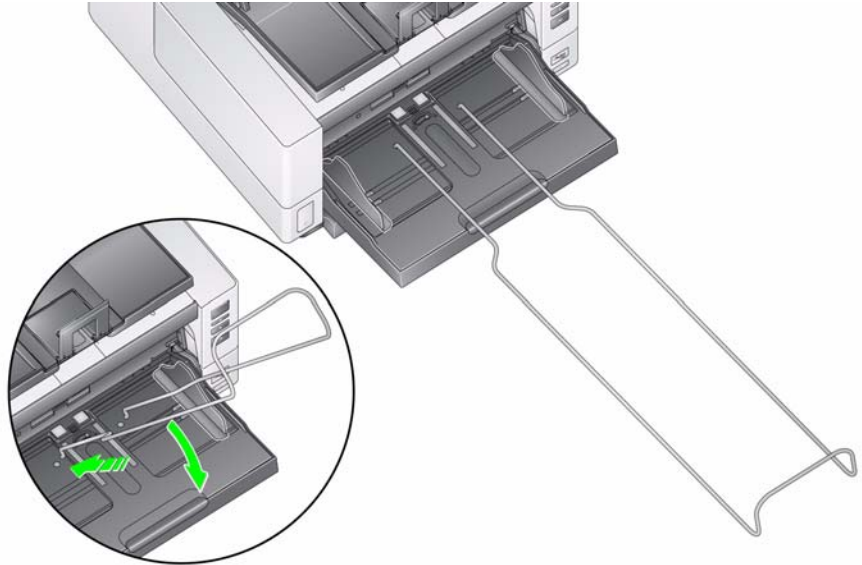
- **43.2 cm 以上の長さの原稿** — 43.2 cm を超える長さの原稿をスキャンする場合、その長さに対応するようにスキャナードライバを設定する**必要があります**。[デバイス — 一般 タブの [最長原稿サイズ] オプション（TWAIN データソース） または [スキャナー] タブの [最長原稿サイズ] オプション（ISIS ドライバ） で、スキャン原稿より長く設定されている事を確認してください。

注：

- 43.2 cm 以上の原稿をスキャンする場合、オペレータによる補助が必要になる事があります。
- 43.2 cm 以上の原稿をスキャンする場合、延長トレイの使用を推奨します。43.2 cm から 86.36 cm までの長さの原稿をスキャンする場合、3 種類のサイズの延長トレイを使用すると良いでしょう。詳細については、第 5 章の「オプションと消耗品」のセクションを参照してください。
- **原稿の重量** — 入力エレベータに収納できる原稿の最大重量は、A3 用紙 500 枚に相当する重量です。A3 用紙より大きい原稿をスキャンする場合、推奨の重量は 4.5 kg 以下です。原稿の長さが A3 用紙を超える場合、100 枚以上の原稿をセットしないでください。

延長トレイの取り付け

- 延長トレイの端を入力エレベータまたは出カトレイの穴に挿入し、延長トレイを正しい位置に取り付けます。

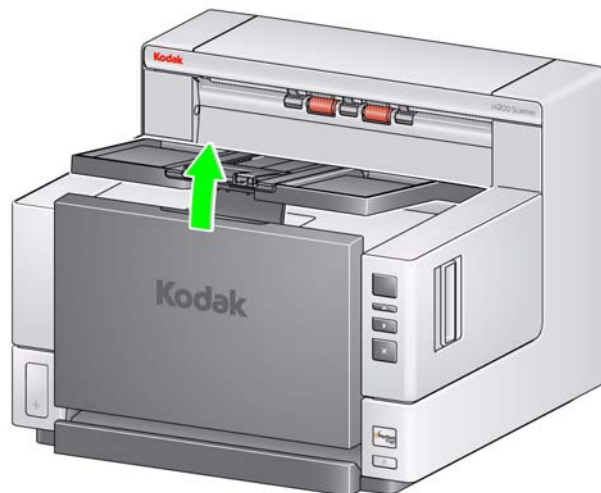


出カトレイの調整

コダック i4000 プラスシリーズスキャナーは原稿を整えながら排紙できるので、出カトレイのサイドガイドや原稿ストッパーを使用しないで原稿をスキャンできます。サイドガイドの片方か両方を折りたたみ、高さの調節タブを引き上げると、スキャンした原稿を簡単に取り出せます。サイドガイドと原稿ストッパーを使用する前に、この方法をお試しください。

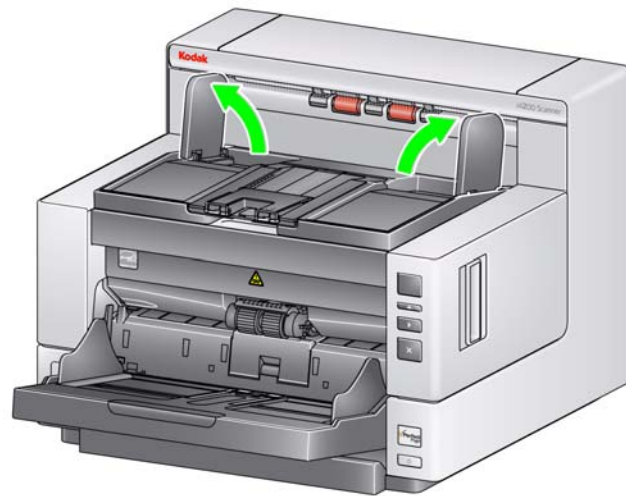
注：サイドガイドと原稿ストッパーを使用した方が便利な場合は、次のセクションで調整方法を確認してください。

- 出カトレイの角度の調整** — スキャンした原稿が適切に排紙されるよう、出カトレイの角度を「高い」位置に設定することを推奨します。出カトレイの前部を持ち上げると、その下に高さの調節タブがあります。

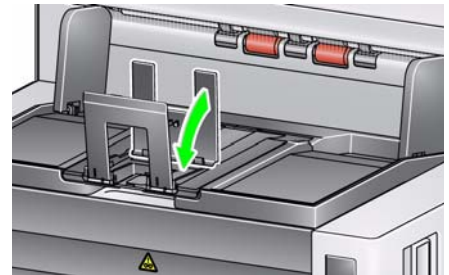
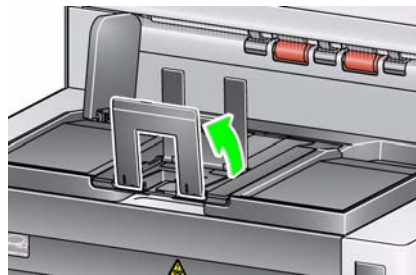
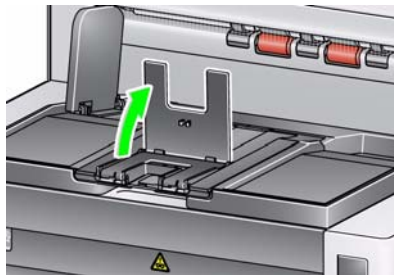


出カトレイを下げる場合は、出カトレイの下の高さの調節タブをゆっくり押し、出カトレイを下げます。

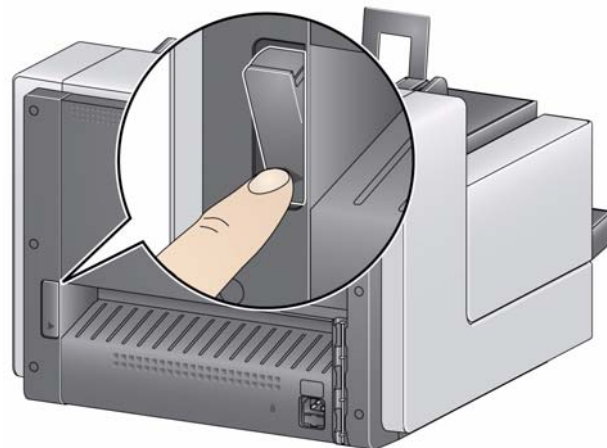
- **サイドガイドの調整** — 出カトレイの上にあるサイドガイドを開き、入力エレベータのサイドガイドの位置に一致するよう調整します。サイドガイドは出カトレイの方向に折りたたむことができます。



- **原稿ストッパーの調整** — 出カトレイの原稿ストッパーは、給紙する原稿の長さよりも長くなるように調整します。出カトレイよりも長い原稿をスキャンする場合、ドキュメントストッパーを折りたたみます。



- **後部原稿排紙口を開く** — 特別な処理を必要とする原稿（破損しやすい原稿、梱包材料など）は後部原稿排紙口から排紙できます。特別な処理を必要とする原稿はこの排紙口を使用するので、紙詰まりを防止できます。



後部原稿排紙口は、以下の場合に使用します。

- 硬い原稿で、搬送中に紙詰まりになる（ファンクションウィンドウには「U9」が表示されます）。
- 原稿が破損しやすいため、曲げずにスキャンする必要がある。
- 原稿排紙後の順番が重要ではない。
- スキャン後に原稿が不要になるため、直接リサイクル箱に入れる。
- 写真をスキャンする。

注：

- 終了後は、後部原稿排紙口の切り替えスイッチを必ず元の位置に戻してください。
- このオプションを使用する場合、スキャナー後部に排紙するために十分なスペースを確保してください。
- 複数の原稿のスキャンで後部原稿排紙口を使用する場合、排紙後は給紙とは逆の順番になります。

原稿の準備

1. 標準用紙サイズの前稿は、簡単に給紙できます。スキャンする原稿は、先端を揃えて入力エレベータの中央にセットします。これにより、フィーダから原稿が1枚ずつスキャナーに給紙されます。
2. ホチキスやクリップは、スキャンする前にすべて取り除いてください。原稿がホチキスやクリップで留められていると、スキャナーや原稿が損傷を受ける場合があります。
3. スキャンを開始する前に、原稿上のすべてのインクと修正液が乾いていることを確認してください。
4. 破れたりしわになっている原稿でも、このスキャナーでは問題なくスキャンできます。ただし、原稿の破損状態によっては例外もあります。破損した原稿を給紙できるか判断できない場合、原稿をクリアフォルダに入れて、後部原稿排紙口を使用してください。シートは1枚ずつマニュアルで給紙する必要があります。ギャップリリース切り替えスイッチを使用しながら、端が閉じている方から給紙してください。

注：オプションの**コダック A3 フラットベッド**で脆弱な原稿をスキャンすることもできます。

5. スキャンする原稿を入力エレベータにセットします。片面原稿をスキャンする場合は、スキャンする面を上に向けてセットします。

注：

- あまりにも厚い原稿や硬い原稿（梱包材料など）の場合は、以下が必要になる場合もあります。
 - 後部原稿排紙口の使用。
 - ギャップリリース切り替えスイッチの使用。
 - プリセパレーションパッドの取り外し。
 - スキャナーの搬送速度の減速（300 dpi 以上でスキャンする場合）。

スキャンアプリケーションの選択

コダックでは、スキャナーに以下の2つのスキャンアプリケーションを添付しています。

- **スマートタッチ** — コダックのスマートタッチは、以下の様な一般的なスキャンタスクをすばやく簡単に実行できます。
 - 顧客からのメッセージをスキャンして支店内の社員と共有する
 - 紙のレポートからサーチャブル PDF を作成する
 - スキャンしたテキストを原稿に追加する

事前設定されたタスクのショートカットが9種類あります。ショートカットを修正して名前を変更し、独自のカスタムタスクを作成できます。イメージの保存前に、プレビューして簡単に編集ができます（ズーム、移動、回転、トリミングなど）。

スマートタッチの詳細については、インストール CD の『スマートタッチ ユーザーズガイド』を参照してください。

- **コダックキャプチャデスクトップソフトウェア** — 直観的で使いやすいスキャンアプリケーションです。スキャンした原稿の処理と共有をシンプルにすることを重視して設計されました。コダックキャプチャデスクトップソフトウェアはすぐに使用でき、1枚の書類から大規模なバッチまで、分散または部門別環境でスキャン、編集、出力できます。

コダックキャプチャデスクトップソフトウェアは簡単にスキャン業務に必要な機能のほか、コダックキャプチャソフトウェアのデザインとインタフェースを共有しており、イメージとデータの取得に高度な自動化機能を多数搭載しています。

アイコンベースのツールなどの機能一式を取り揃え、コダックキャプチャデスクトップソフトウェアはシンプルなスキャンを実現します。すばやく、簡単にイメージファイルを保存し、サーチャブル PDF の作成や、情報を Microsoft SharePoint などの共有先へ統合できます。

コダック i4000 プラスシリーズスキャナーでも、コダックキャプチャソフトウェアを使用できます。詳細については、www.Kodak.com/go/capturepro を参照ください。

多くのメーカーのスキャンアプリケーションは、コダック i4000 プラスシリーズスキャナーをサポートしています。各アプリケーションのサポートについては、メーカーにお問い合わせください。

4 印字

目次

プリンタの仕様.....	4-2
インクカートリッジの取り付け／交換.....	4-3
印字テストの実行.....	4-5
印字位置の変更.....	4-8
インクプロッタストリップの取り付け／交換.....	4-9
問題解決.....	4-10

この章では、オプションのプリンタの使用について説明します。プリンタオプションを使用する場合は、プリンタアクセサリを購入し、インストールする必要があります。

注：プリンタアクセサリに付属の説明書を読んで、このアクセサリのインストール手順を確認してください。

印字および印字文字列の詳細については、CD に収録されている *TWAIN* データソースまたは *ISIS* ドライバの『*Scanning Setup Guide* (スキャナー設定ガイド)』、またはお使いのスキャンアプリケーションのマニュアルを参照してください。

プリンタは、スキャナーの最高速度で動作します。日付、時刻、ドキュメントカウンタ、固定文字列を印字できます。

印字文字列はバッチ名、オペレータなど、どの原稿に対しても同じ情報と、ドキュメントカウンタなど、スキャン原稿ごとに異なる情報を設定できます。

すべてのプリンタの機能は *TWAIN* データソースまたは *ISIS* ドライバからアクセスできます。

注：

- スキャン開始前にプリンタを有効にして、インクカートリッジを取り付けます。
- プリンタの使用時には、スキャナーの搬送路を毎日清掃してください。
- 長さ 10 cm 以下の原稿には印字できません。
- 印字のジョブでスキャンする際に、プリンタを取り付けていないと **U2** のエラーが表示されます。

プリンタの仕様

以下の仕様の詳細については、TWAIN データソースまたは ISIS ドライバーの『Scanning Setup Guide (スキャナー設定ガイド)』を参照してください。

特性	説明
最大行数	1
最大文字数	40 (スペースを含む)
印字位置 (水平方向)	8、手動設定
印字位置 (垂直方向)	スキャンアプリケーションで設定
印字方向	0 度および 90 度
フォントサイズ	標準、太字、極太 注：半角カナなど、太字フォントがサポートされていない場合もあります。
印字面	表面 (スキャン前に印字)
原稿の先端からの最小印字間隔	0.89 cm
インクカートリッジ	黒：HP-C6602A 赤：HP-C6602R
インクカートリッジあたりの文字数	1,500,000 ~ 2,000,000 (使用するフォントサイズにより異なる)
使用可能なリテラル (静的) フィールド	スキャンソフトウェアを使ったユーザ指定のメッセージ
使用可能なダイナミック (動的) フィールド	最大 9 桁の原稿の連番、日付、4 桁の時刻
サポート言語	すべての表音言語に対応します。例：オランダ語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、日本語 (半角カナ)

インクカートリッジの 取り付け／交換

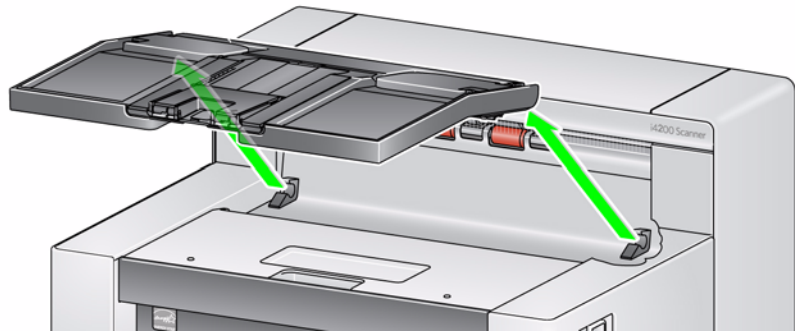
プリンタを使用する前に、インクカートリッジをインストールしてください。製品情報については、第5章の「オプションと消耗品」のセクションを参照してください。

取り付け後、以下のような状況が発生した場合は、インクカートリッジを交換する必要があります。

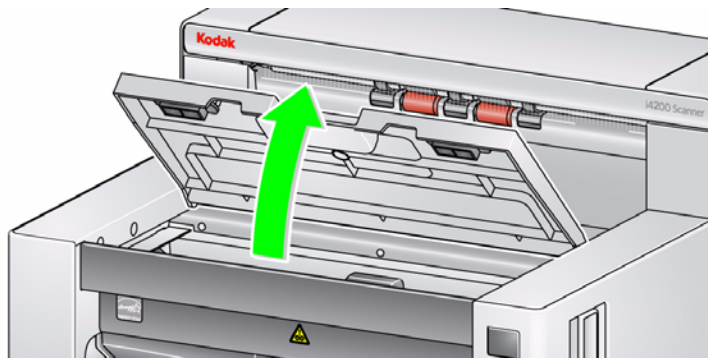
- 印字が薄かったり、不均一な場合
- 文字が欠落している場合
- 印字テストで文字の品質が不均一の場合
- クリーニングを行っても印字品質が向上しない場合

重要: 空のインクカートリッジの廃棄は、国や地域の法律に従ってください。

1. 出力トレイを取り外します。



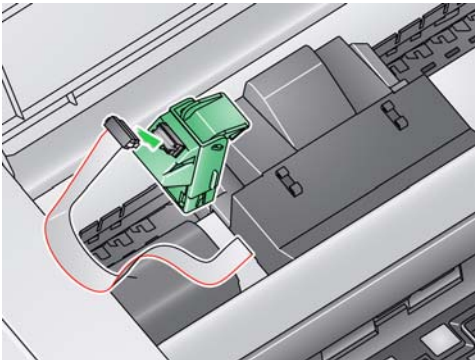
2. プリンタアクセスカバーを開けます。



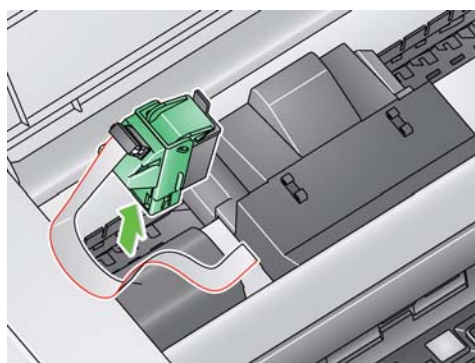
注：出力トレイを取り外さない場合は、出力トレイの前部を持ち上げてから、高さの調節タブの後ろにプリンタアクセスカバーが来るように持ち上げます。



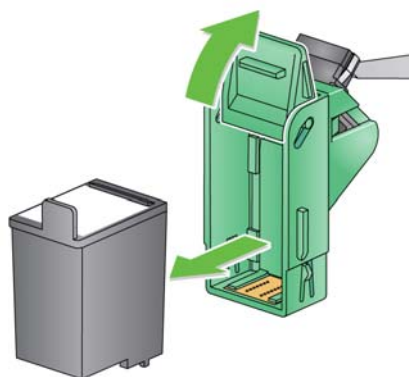
- 初めてインクカートリッジを取り付ける場合、プリンタケーブルのコネクタをプリンタキャリアにしっかりと押し込みます。



注：インクカートリッジを交換する場合はプリンタケーブルがすでに接続されているので、プリンタキャリアを取り出して、空のインクカートリッジを取り外します。



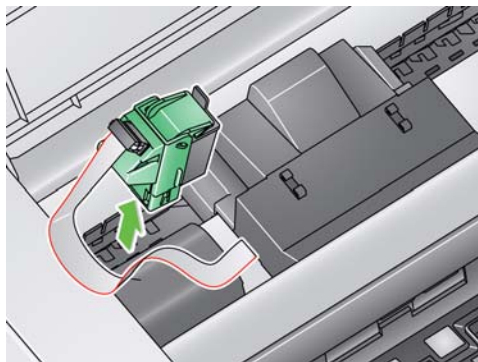
- インクカートリッジのパッケージを開き、新しいインクカートリッジからタブを外します。
- プリンタカートリッジの緑のタブを持ち上げ、プリンタキャリア内にインクカートリッジを取り付けて、タブを閉じます。



注：

- プリンタケーブルが外れている場合は、元の位置に接続してください。
- インクカートリッジの廃棄：**HP（ヒューレット・パッカード社）のWebサイトを参照し、地域の法規に従って、プリンタの消耗品のリサイクルまたはインクカートリッジの廃棄を行ってください。

6. プリンタキャリアを適切な位置に取り付けます。詳細については、この章の後半にある「印字位置の変更」を参照してください。

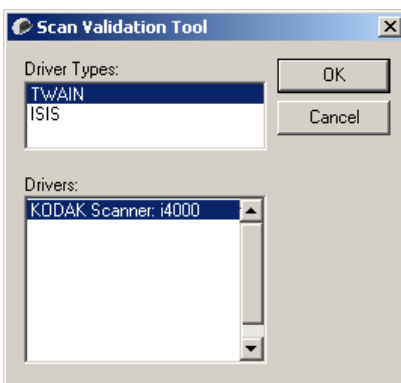


7. プリンタアクセスカバーを閉めて、出力トレイを取り付けます。
8. 印字テストを実行します（次のセクション参照）。

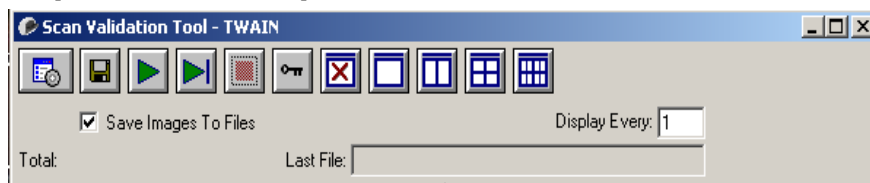
印字テストの実行


印字テストは、*Kodak Scan Validation Tool* を使用して実行できます。

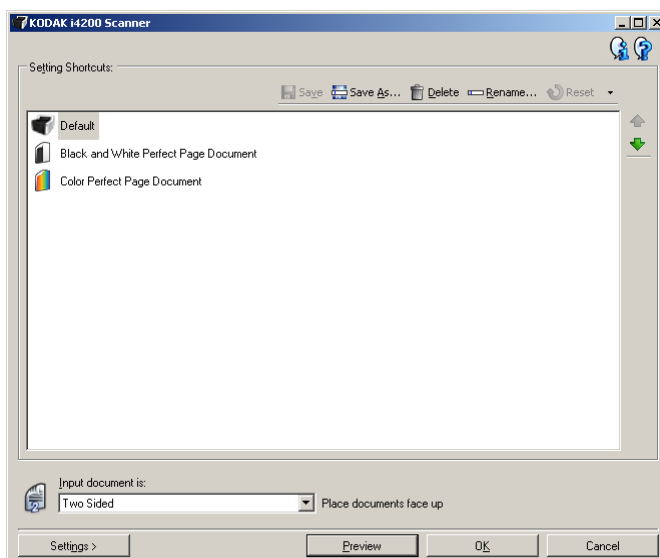
1. 入力エレベータに白紙をセットします。
2. インクカートリッジが正しく取り付けられている事を確認します。
3. [スタート]>[プログラム]>[kodak]>[Document Imaging]>[Scan Validation Tool] を選択します。



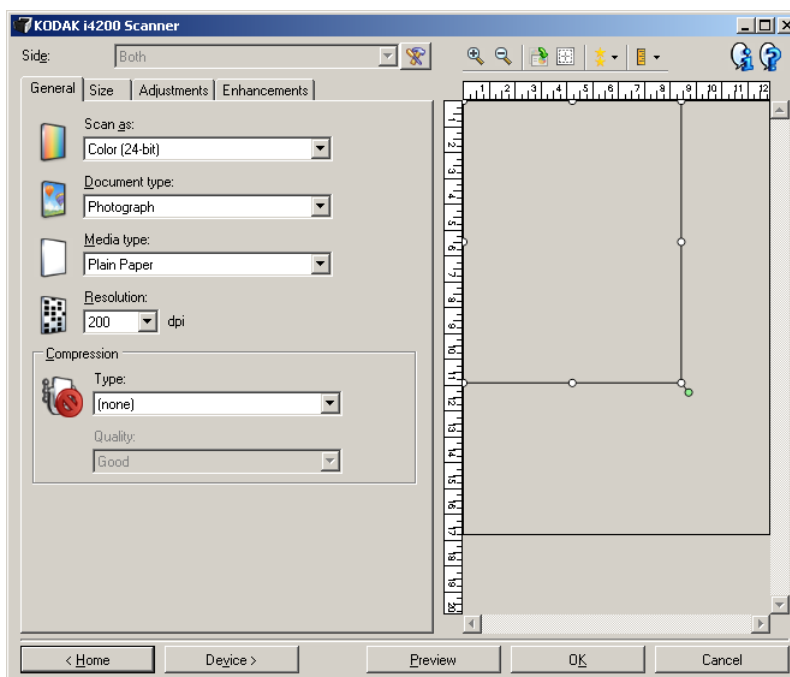
4. [ドライバの種類]から [TWAIN] を選択し [Kodak Scanner: i4000] を選択します。[Scan Validation Tool] ダイアログボックスが表示されます。



5. [**セットアップ** ] アイコンをクリックします。[TWAIN ドライバ] メインウィンドウが表示されます。

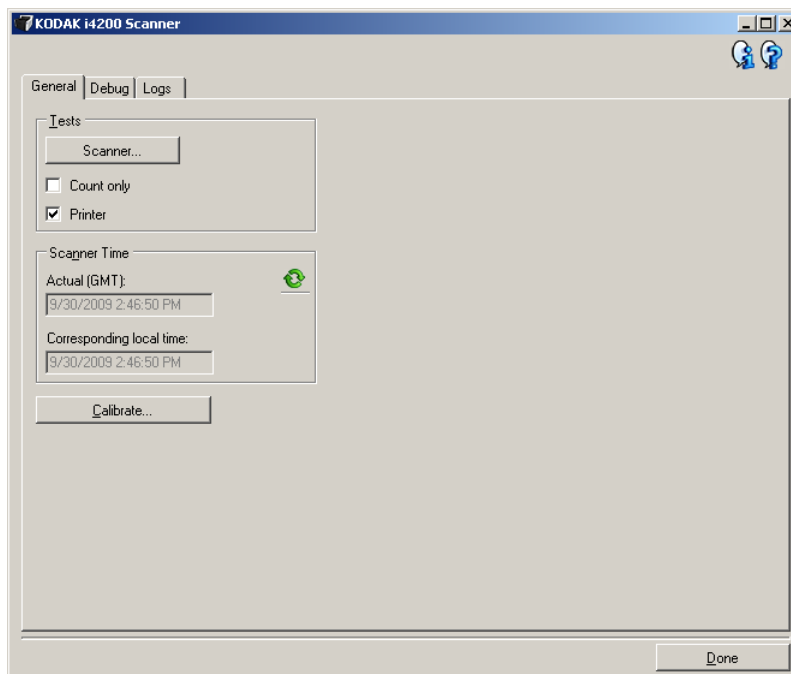


6. [**デフォルト**] を選択し、[**設定**] をクリックします。

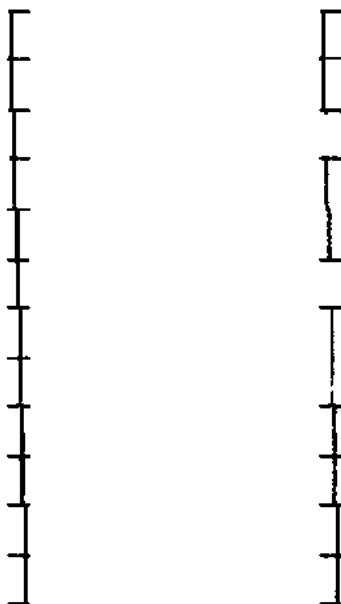


7. [**一般**] タブで [**デバイス**] ボタンをクリックします。

8. [デバイス - 一般] タブで [診断] ボタンをクリックします。[一般 - 診断] ウィンドウが表示されます。



9. [プリンタ] チェックボックスを有効にして、[完了] をクリックします。
10. 入力エレベータに白紙をセットしてスキャンします。
11. テストパターンを確認します。テストパターンにむらがある場合、プリントヘッドのクリーニングまたはインクカートリッジの交換が必要です。



許容できる

許容できない：印字パターンにむらがある

注：プリントヘッドをプリンタキャリアから取り外して、湿った布で軽く拭いてください。

印字位置の変更

水平の印字位置は手動で変更する必要があります。

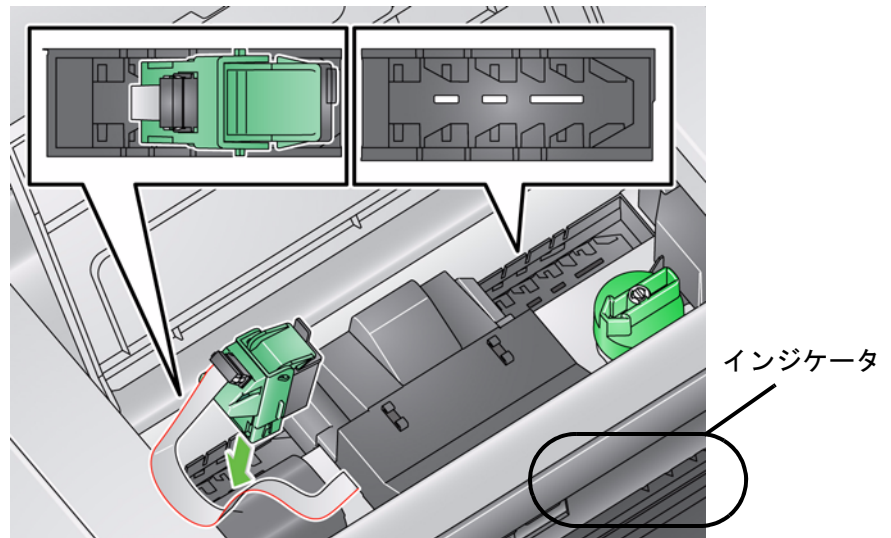
1. 出力トレイを取り外します。
2. プリンタアクセスカバーを開けます。

注：

- 水平方向の印字位置は、プリンタレール上の小さなつめで確認できます。
- 情報がすべて印字されていなくても、原稿の後端から約 1.27 cm のところで印字が自動的に停止します。

3. プリンタキャリアを持ち上げ、取り外します。
4. プリンタキャリアの溝を適切な位置に設定し、プリンタキャリアを取り付けます。

注：入力エレベータ端の印字位置インジケータを使用して、横印字位置を確認できます。

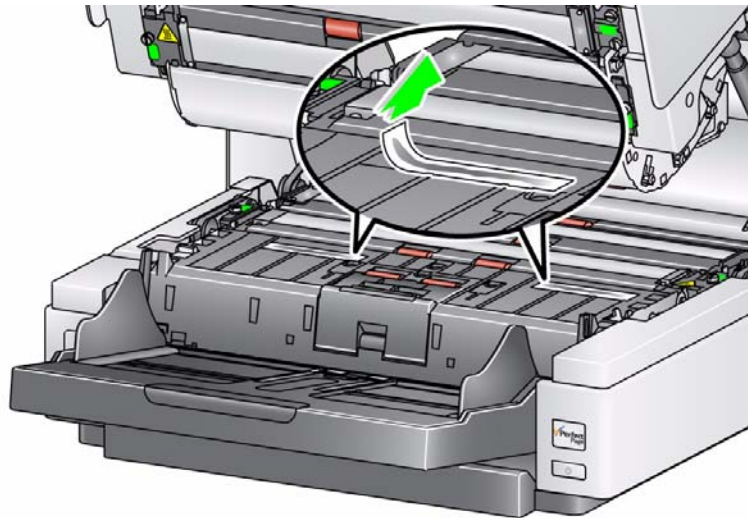


5. プリンタアクセスカバーを閉めて、出力トレイを取り付けます。

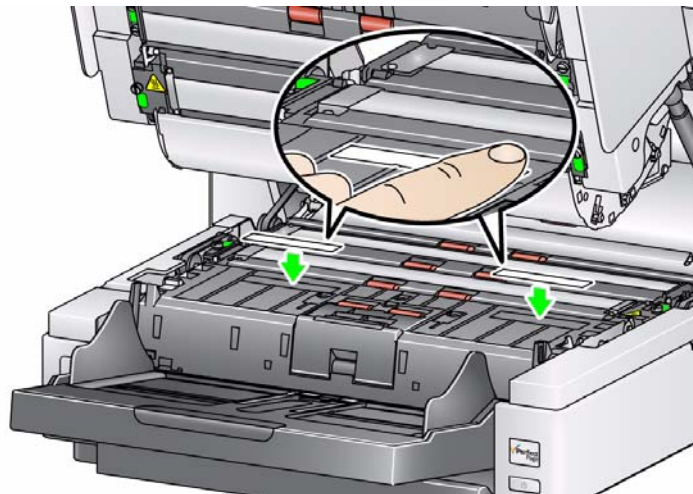
インクプロッタストリップの取り付け／交換

スキャナーを設置するときに、2枚のインクプロッタストリップをインクプロッタチャンネルに貼り付けます。これらをスキャナーの搬送部に配置することで、インクのオーバーフローが防止されます。追加のインクプロッタストリップを注文する方法については、第5章の「オプションと消耗品」のセクションを参照してください。

1. スキャナーカバーリリースラッチを手前に引いて、スキャナーカバーを解除して持ち上げます。
2. 2つのインクプロッタチャンネルの位置を確認します。このチャンネルにインクプロッタを取り付けます。
3. プロッタストリップを交換する場合は、手順4に進んでください。それ以外の場合は、手順5に進みます。
4. プロッタストリップをチャンネルからはがし、地域の法規に従って汚れたストリップを破棄します。



5. 新しいインクプロッタの裏紙をはがします。
6. 片方のチャンネルにインクプロッタを取り付けます。



注：インクプロッタを正しく取り付けないと、紙詰まりの原因になります。

7. インクプロッタの糊の付いている面をチャンネル内にしっかりと押しつけます。
8. 他のプロッタストリップも手順4～7を繰り返します。
9. スキャナーカバーを閉めます。

問題解決

プリンタ使用時に発生した問題への対処方法については、以下のリストを参考にしてください。

問題点	解決方法
印字の品質が悪いまたは一定していない	<ul style="list-style-type: none">• インクカートリッジが空でないことを確認します。• インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。• インクカートリッジが正しい位置にあることを確認します。• スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっているか、また印刷文字列が指定されているか確認します。• プリンタコネクタがすべてしっかりと固定されていて、プリンタケーブルがしっかりと取り付けられているか確認します。• 印字テストを実行して、すべてのインクジェットが正常に機能しているか確認します。この章の前半の「印字テストの実行」のセクションを参照してください。• プrintヘッドをクリーニングします（以下の「Printヘッドの乾燥による印字開始時の問題」を参照）。
Printヘッドの乾燥により、印字開始時に問題が発生した	スキャナーからプリンタカートリッジを外し、インクカートリッジのインクジェットを濡れた布で軽く叩いた（注：拭かないでください）後に、インクカートリッジを交換して、もう一度実行してください。
印字しない	<ul style="list-style-type: none">• スキャンアプリケーションでプリンタが有効になっているか確認します。• 目的の印字位置に、インクカートリッジが正しく取り付けられていることを確認します。• Printヘッドからテープが外れていることを確認します。
印字するときにファンクションウィンドウに U2 が表示される	<ul style="list-style-type: none">• インクカートリッジが取り付けられていません。

5 メンテナンス

目次

清掃頻度チャート	5-2
清掃用品	5-2
スキャナーカバーの開け方	5-2
清掃手順	5-3
出カトレイと入力エレベータの清掃	5-4
ローラの清掃	5-4
セパレーションローラタイヤの清掃手順	5-5
フィードモジュールタイヤの清掃手順	5-6
ホワイトバックグラウンドストリップの清掃方法	5-6
イメージングガイドの清掃（基本）	5-7
イメージングガイドの清掃（完全）	5-8
トランスポートクリーニングシートによる清掃	5-10
清掃の最終手順	5-10
交換手順	5-11
フィードモジュールまたはフィードモジュールタイヤの交換手順	5-11
セパレーションローラまたはセパレーションローラタイヤの 交換手順	5-14
プリセパレーションパッドの交換手順	5-15
イメージングガイドの交換手順	5-16
切替え式ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法	5-16
オプションと消耗品	5-17

この章では、コダック i4000 プラスシリーズスキャナーに必要な清掃とメンテナンスの手順について説明します。これらの手順の頻度はスキャン環境、用紙のタイプ、イメージ処理の要件によって異なります。スキャンの量が多い場合、スキャナーの清掃と消耗品の交換の頻度も多くなります。スキャンの量が少ない場合、作業の頻度も少なくなります。次のページの「清掃頻度チャート」を参照して、清掃の目安にしてください。ただし、最良の方法はご自身で判断してください。コダックはスキャナーを使用している現場に長年立ち会ってきました。その経験から、スキャナーの正しい清掃とメンテナンスによって、より少ない時間でより多くの原稿をスキャンでき、問題も防止できることが確認されています。正しくメンテナンスをすれば、i4000 プラスシリーズスキャナーを長期間使用できます。

スキャナーの消耗品（タイヤ、プリセパレーションパッドなど）と清掃用品は代理店、インターネットショッピング、コダックのオンラインストア (<http://scannerstore.kodak.com>) で購入できます。消耗品は数種のサイズのキットとして販売されています。これらのキットではタイヤ、ローラ、プリセパレーションパッドなどが適切に組み合わせられているため、推奨頻度で簡単に交換できます。たとえば、タイヤを交換してもセパレーションローラを交換しなければ、スキャナーの処理能力は必然的に最小化されます。消耗品を推奨の頻度で交換することで、処理能力を最大化することができます。

清掃頻度チャート

推奨するクリーニング手順では、スキャナーの搬送路を掃除機で掃除し、フィードモジュールタイヤ、セパレーションローラ、ドライブローラのゴミを取り除き、イメージングガイドを清掃します。

スキャナーの清掃頻度については、以下のチャートで確認してください。

手順	業務の開始時	シフト中	新規シフトの開始時
出力トレイと入力領域を掃除機で清掃します（入力エレベータと搬送路）	X		
すべてのローラを清掃します	X		X
搬送路を掃除機で清掃します	X	X	X
トランスポートクリーニングシートを使用します	X		X
イメージングガイドを清掃します（基本）	X	X	X
イメージングガイドを清掃します（完全）	X		X

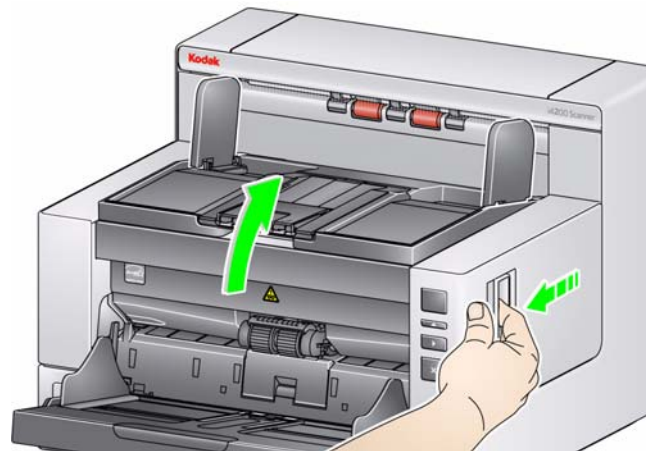
清掃用品

スキャナーの日常的なメンテナンスを行う場合には、以下の清掃用品を使用してください。他の清掃製品を使用すると、スキャナーに損傷を与える場合があります。

- コダック デジタルサイエンス トランスポート クリーニングシート
- コダック デジタルサイエンス ローラクリーニングパッド
- コダック スキャナー用 静電クリーニングクロス
- 掃除機およびツール

スキャナーカバーの開け方

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 入力エレベータ、搬送路、出力トレイから原稿を取り除きます。
3. スキャナーカバーのリリースラッチを手前に引きます。スキャナーカバーが少し開きます。カバーを持ち上げて、内部コンポーネントにアクセスできるように完全に開きます。



4. スキャナーの清掃や消耗品の交換が終わったら、スキャナーカバーを両手で閉じます。

清掃手順

最適な画質を保つには、スキャナーを定期的に清掃して予防的なメンテナンスを施す必要があります。

原稿の種類によっては紙粉やゴミが通常より多く発生するため、より頻繁に清掃する必要があります。

スキャナーの清掃や消耗品を交換する前に、以下を参照してください。

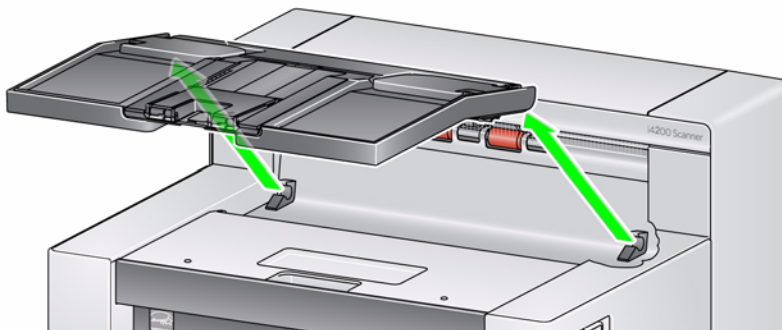
- フィードモジュールおよびセパレーションローラのゴムタイヤに付着するゴミは問題ありません。タイヤカスの発生は必ずしもタイヤの磨耗や損傷を意味するものではありません。清掃後、タイヤを点検し、必要に応じてセパレーションローラまたはフィードモジュールを交換してください。
- ローラやタイヤを清掃した場合は、ローラやタイヤが完全に乾いてからスキャンしてください。
- 推奨する清掃用品以外は使用しないでください。未承認の洗浄液や溶剤を使用すると、ゴムタイヤに損傷を与える場合があります。
- 密閉された場所でクリーナを使用しないでください。適切な換気が必要です。
- 高熱面にクリーナを使用しないでください。使用する前に表面を常温まで冷ましてください。
- スプレーや圧縮空気は使用しないでください。圧縮空気を使用すると、紙粉がスキャナーのイメージングシステムに入り込んで画質の問題を引き起こし、カメラを取り外さない限りクリーニングできません。
- スキャナーの近くで可燃性スプレーを使用しないでください。
- 推奨されるクリーニング用品のほかに、掃除機を使用してスキャナーのゴミを取り除くこともできます。
- 静電クリーニングクロスには、目に刺激を与え、肌のかさつきの原因となるイソプロパノールが含まれています。メンテナンス後は、石鹼と水で手を洗ってください。詳細については、『化学物質安全データシート (MSDS)』を参照してください。MSDS は、コダックの Web サイト www.kodak.com/go/MSDS から手入できます。

注：MSDS にアクセスするには、消耗品のカタログ番号が必要です。カタログ番号については、本章後半の「オプションと消耗品」を参照してください。

- ローラクリーニングパッドには、目に刺激を与える可能性のあるラウリル硫酸エーテルナトリウム、およびケイ酸ナトリウムが含まれています。詳細については、MSDS を参照してください。

出カトレイと入力エレベータの掃除

1. スキャナーの電源を切ります。
2. 出カトレイを取り外します。

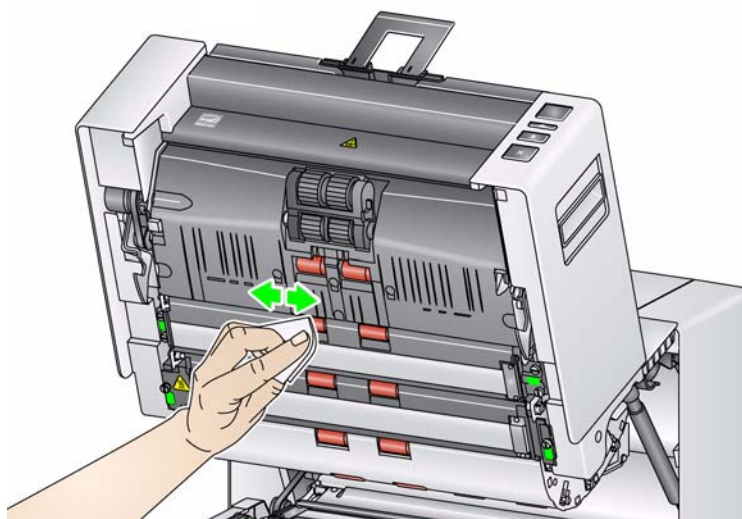


3. 出カトレイと入力エレベータの付近を掃除機で完全にクリーニングします。

ローラの清掃

ローラを清掃する場合、搬送部のローラ、セパレーションローラ、フィードモジュールのタイヤをすべて清掃します。

1. スキャナーカバーを開けます。
2. ローラクリーニングパッドを使用して、ローラを手で回しながら汚れを拭き取ります。

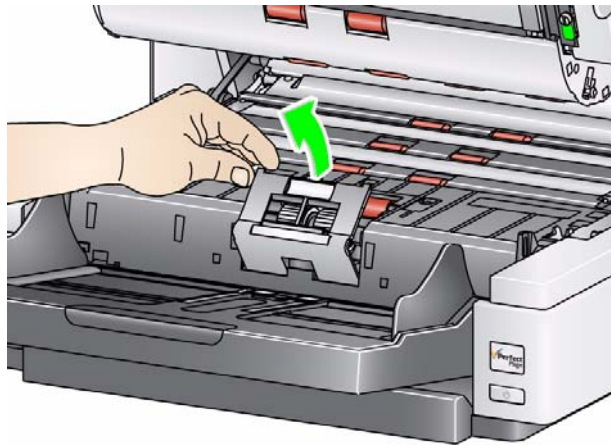


3. チリの出ない布でローラを乾拭きします。

セパレーションローラタイヤの清掃手順

4. セパレーションパッドホルダーを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。

注：セパレーションローラのカバーはスプリングで留められています。セパレーションローラのカバーを引き上げ、セパレーションローラを取り外してから、ローラのカバーを静かに元に戻します。



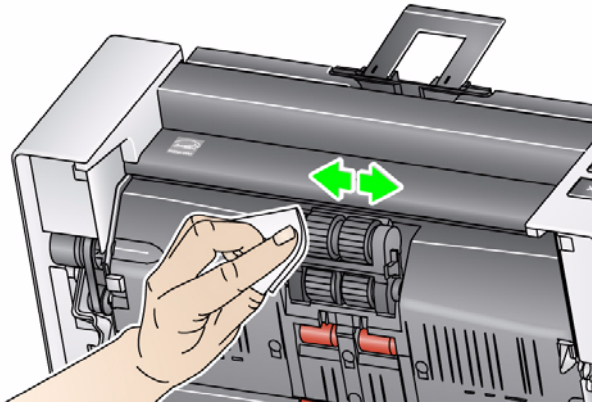
5. セパレーションローラタイヤを手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭いてください。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。



6. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、セパレーションローラを交換します。この章で後述する「交換の手順」を参照してください。
7. セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせて、ローラを取り付けます。

フィードモジュールタイヤの 清掃手順

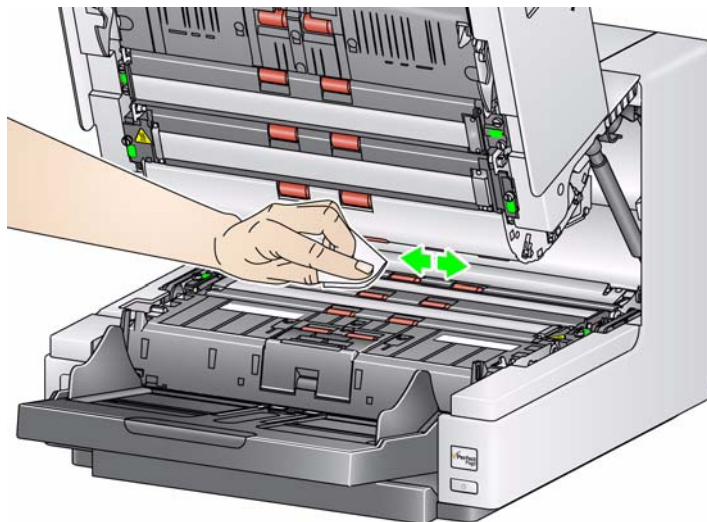
8. フィードモジュールタイヤは手で回しながら、ローラクリーニングパッドで拭きます。溝の間にあるゴミを取り除くように、溝に沿って拭くことがポイントです。タイヤの清掃時は、フィードモジュールを取り外す必要はありません。



9. タイヤを点検します。タイヤに磨耗または破損の兆しが見られる場合は、フィードモジュールタイヤを交換します。この章で後述する「交換の手順」を参照してください。

ホワイトバックグラウンドスト リップの清掃方法

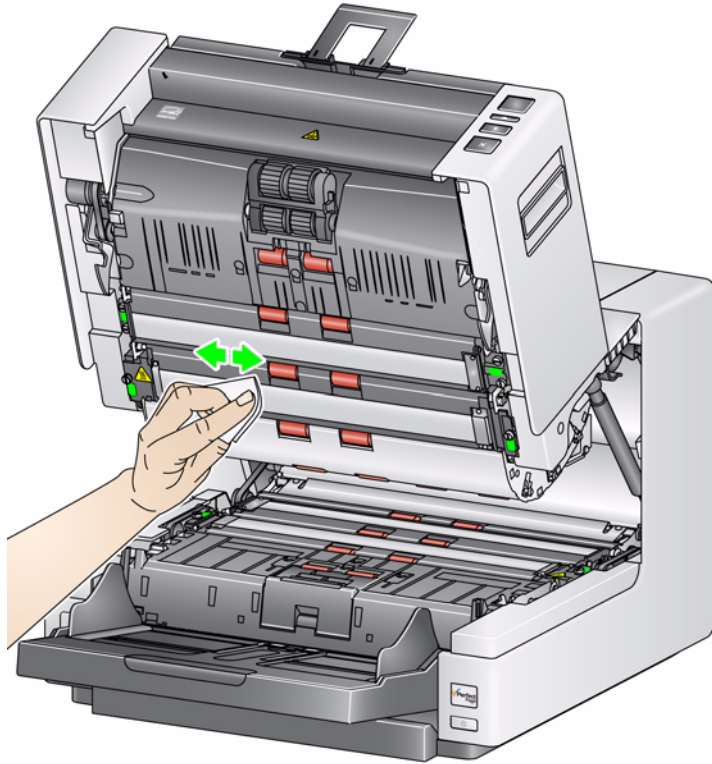
10. 上下のバックグラウンドストリップを静電クリーニングクロスで拭きます。



11. 乾いた静電クリーニングクロスを使って、上下のバックグラウンドストリップを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

イメージングガイドの清掃
(基本)

12. 上下のイメージングガイドを静電クリーニングクロスで拭きます。



13. 乾いた静電クリーニングクロスを使って、上下のイメージングガイドを乾拭きし、縞状の汚れを拭き取ります。

14. スキャナーカバーを閉めます。

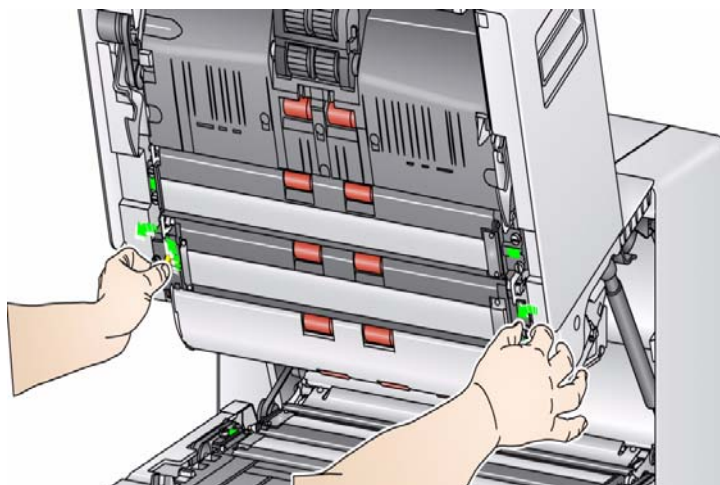
イメージングガイドの清掃 (完全)

業務開始時には、イメージングガイドを完全に清掃することをお勧めします。

注：清掃時には、イメージングガイドに指紋を付けないように、緑色のタブを持つようにしてください。

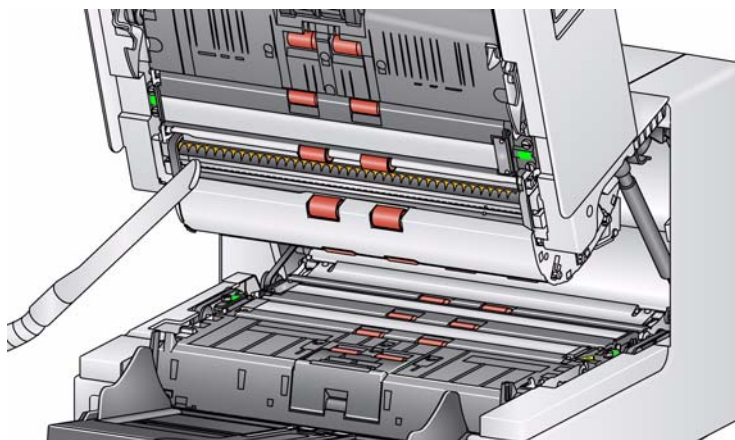
上部イメージングガイド

1. スキャナーカバーを開けます。
2. 上部イメージングガイドの両端にあるネジを左に回し、イメージングガイドを取り外します。イメージングガイドを脇に置きます。



3. 注意しながら、LED の間を掃除機で吸い取ります。

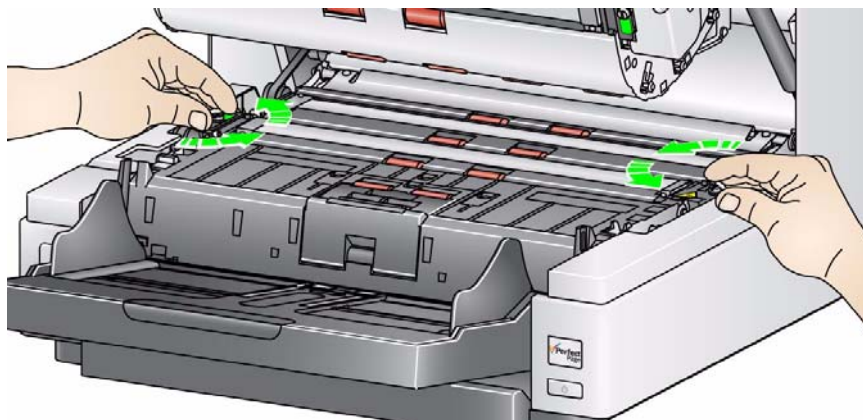
重要：破損の原因になるため、LED には触れないようにしてください。スキャンモジュールの反射鏡に損傷を与える可能性があるため、上部 LED ストリップの間には何も入れないようにしてください。



4. イメージングガイドを静電クリーニングクロスで良く拭きます。
5. 乾いた静電クリーニングクロスでイメージングガイドをもう一度拭き、縞状の汚れを取り除きます。
6. 上部イメージングガイドを取り付けます。

下部イメージングガイド

7. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを左に回し、イメージングガイドを取り外します。イメージングガイドを脇に置きます。



8. 注意しながら、LED の間を掃除機で吸い取ります。

重要: 破損の原因になるため、LED には触れないようにしてください。スキャンモジュールの反射鏡に損傷を与える可能性があるため、上部 LED ストリップの間には何も入れないようにしてください。

9. イメージングガイドを静電クリーニングクロスで良く拭きます。
10. 乾いた静電クリーニングクロスでイメージングガイドをもう一度拭き、縞状の汚れを取り除きます。
11. 下部イメージングガイドを取り付けます。
12. スキャナーカバーを閉めます。
13. 清掃が完了したらスキャナーを起動します。

トランスポートクリーニングシートによる清掃

搬送路はトランスポートクリーニングシートを数回通して清掃します。

1. トランスポートクリーニングシートの包装を外します。
2. サイドガイドを端まで広げます。
3. 入力エレベータの中央にトランスポートクリーニングシートをセットします。このとき、粘着面を上にしてください。
4. 出力トレイからトランスポートクリーニングシートを取り出し、今度は粘着面を下にしてセットし、スキャンします。

注：シートが汚れていたり粘着力が弱い場合は、廃棄して新しいシートを使用します。

清掃の最終手順

トランスポートクリーニングシートによる清掃が完了したら、以下の作業を実行してください。

1. スキャナーカバーを開けます。
2. 上下のイメージングガイドの表面を、チリの出ない布で拭きます。
3. スキャナーカバーを閉じて、テスト用イメージをスキャンして、画質を確認します。

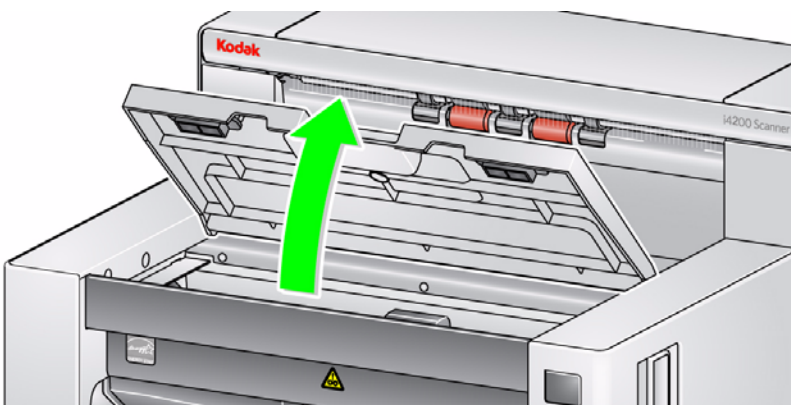
交換手順

ここでは、部品の交換手順について説明します。交換頻度については、以下の説明を参考にしてください。

- **フィードモジュールタイヤおよびセパレーションローラタイヤ** — タイヤの寿命は、用紙の種類や環境、清掃頻度によって異なります。タイヤ寿命は通常およそ 600,000 枚ですが、実際は条件によって異なります。フィードモジュールの性能の低下や、重送、紙詰まりなどが発生する場合は、タイヤを交換する必要があります。フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤはすべて同時に交換してください。
- **フィードモジュールおよびセパレーションローラ** — タイヤを 4 回交換するごとに、新しいフィードモジュールとセパレーションローラを取り付けることを推奨します。新しいフィードモジュールとセパレーションローラは同時に取り付けてください。
- **プリセパレーションパッド** — フィードモジュールとセパレーションローラのタイヤを交換する毎に一度はプリセパレーションパッドを交換することを推奨します。
- **イメージングガイド** — イメージングガイドに傷が付き、イメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換してください。

フィードモジュールまたは フィードモジュールタイヤの 交換手順

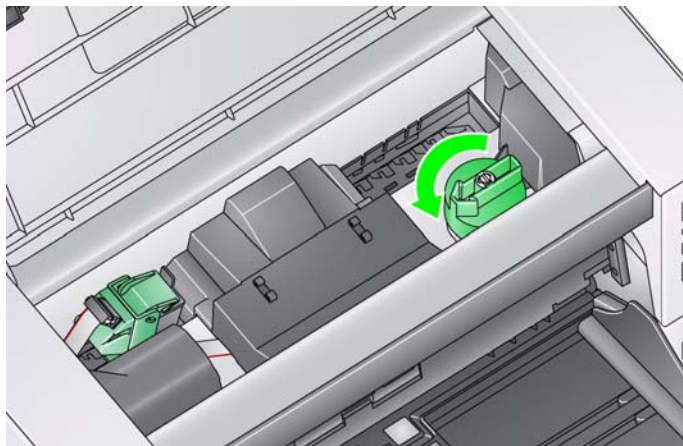
1. 出力トレイを取り外します。
2. プリンタアクセスカバーを持ち上げて開きます。



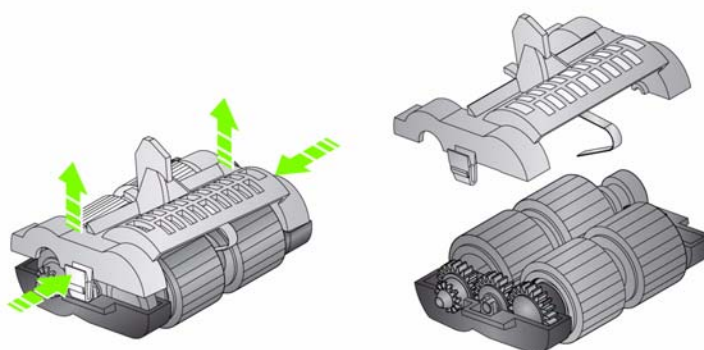
注：出力トレイを取り外さない場合は、出力トレイの前部を持ち上げてから、高さの調節タブの後ろにプリンタアクセスカバーが来るように持ち上げます。



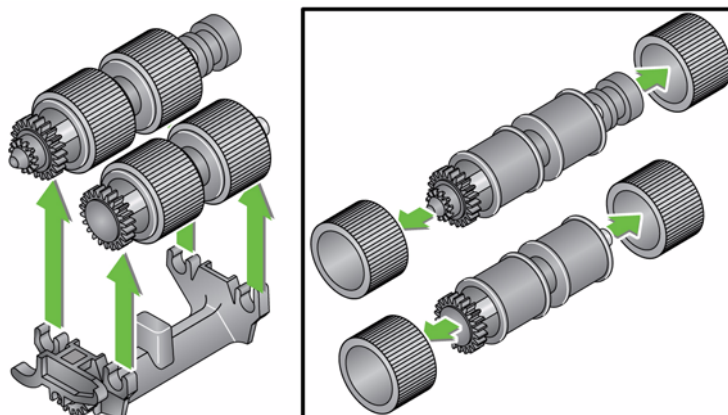
3. フィードモジュールのリリースノブを回し、フィードモジュールを解除します。



4. フィードモジュールを交換する場合は、ステップ 11 に進んでください。タイヤを交換する場合は、ステップ 5 に進んでください。
5. 片手で固定用のタブ（両側に1つずつあります）を押しながら、もう一方の手で下部のカバーを押さえます。上部のカバーを引き上げて、ローラから取り外します。



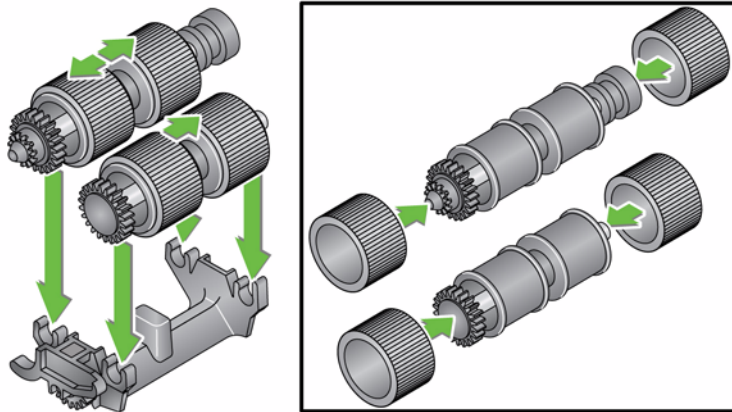
6. タイヤの付いた軸を2つとも取り出します。
7. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。



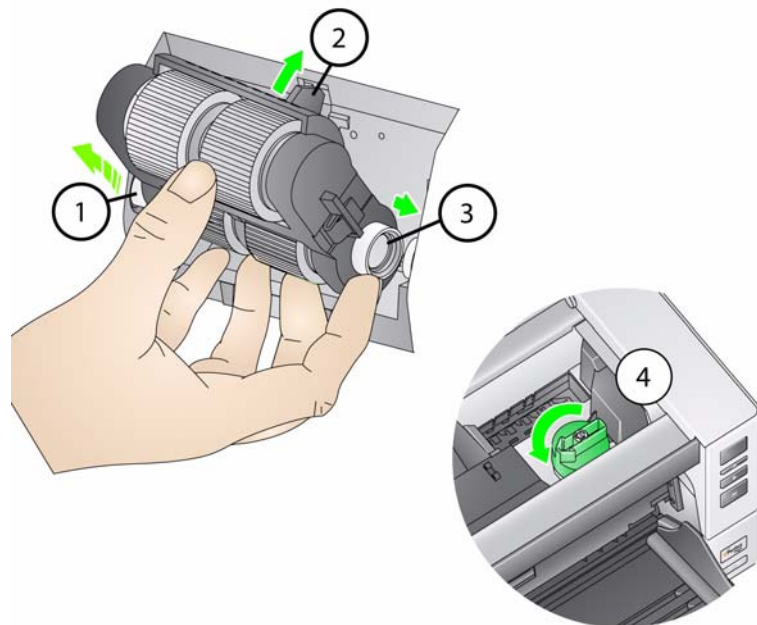
8. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。タイヤの取り付け時に、向きを気にする必要はありません。

重要: タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。

9. フィードモジュールの下部カバー内の 2 つのタイヤの付いた軸を交換し、上部カバーのタブと下部カバーの溝を合わせます。



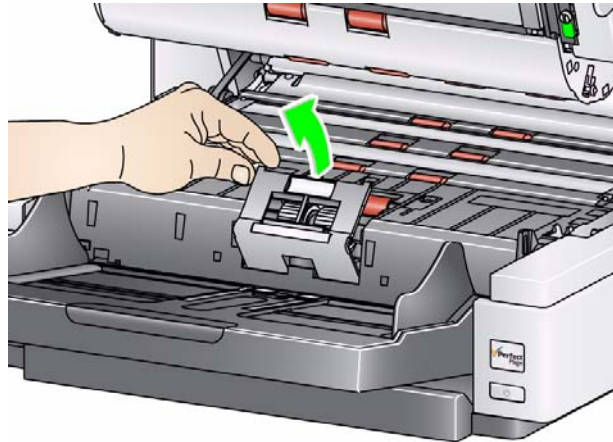
10. 所定の位置にカチッと収まるまで、上下のカバーを同時に押します。
11. フィードモジュールの左側にピンを挿入し (1); 上部タブを溝に合わせます (2); フィードモジュールの右側のピンを溝に合わせ (3)、緑色のフィードモジュールのリリースノブを回して (4) フィードモジュールを取付けます。フィードモジュールが正しい位置に収まり、取り付け後にスムーズに動くか確認してください。



12. スキャナーカバーとプリンタアクセスカバーを閉めます。
13. 出力トレイを取り付けます。

セパレーションローラまたはセパレーションローラタイヤの交換手順

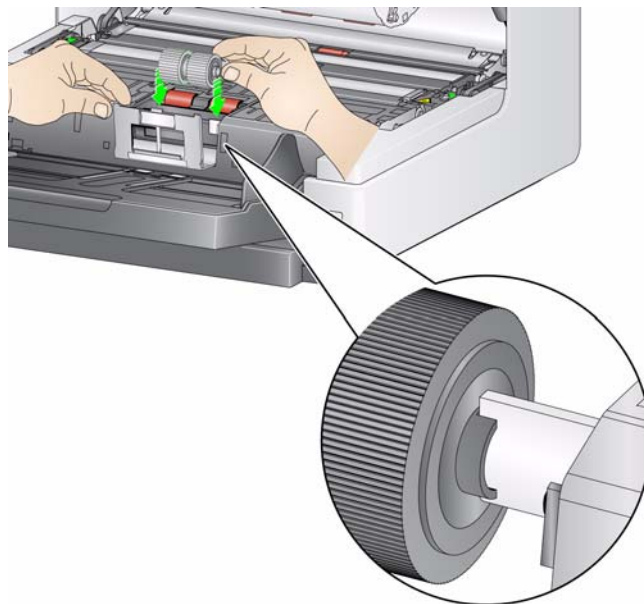
1. スキャナーカバーを開けます。
2. セパレーションローラのカバーを手前に引き、セパレーションローラを取り外します。



注：セパレーションローラのカバーはスプリングで留められています。セパレーションローラのカバーを引き上げ、セパレーションローラを取り外してから、ローラのカバーを静かに元に戻します。

セパレーションローラを交換する場合は、手順3～4を実行します。セパレーションローラタイヤを交換する場合は、手順5に進んでください。

3. 新しいセパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。



4. セパレーションローラを元に戻し、スキャナーカバーを閉じます。

タイヤを交換する場合は、以下の手順に従います。

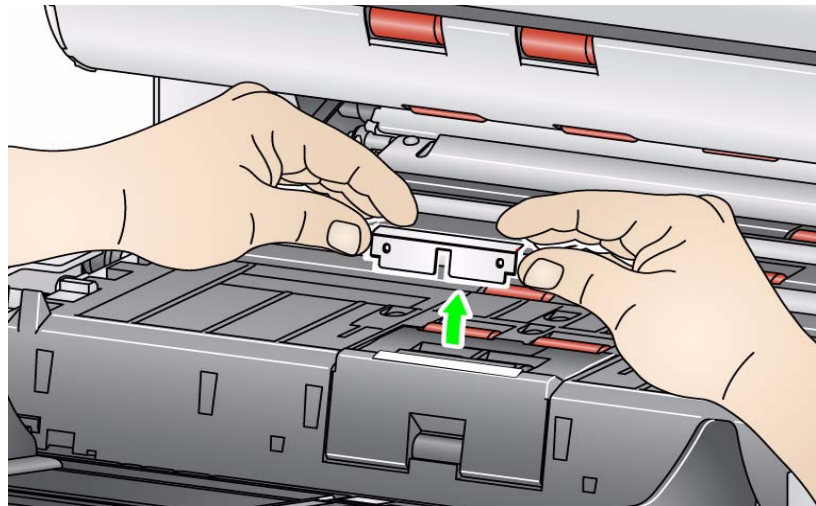
5. タイヤを軸から外し、各タイヤを交換します。
6. 新しいタイヤを軽く引き伸ばしながら軸に取り付けます。
重要: タイヤを引き伸ばし過ぎないでください。ちぎれる場合があります。
7. セパレーションローラを取り付けます。セパレーションローラの溝とホルダの位置を合わせてください。
8. セパレーションローラホルダーを元に戻します。
9. スキャナーカバーを閉めます。

プリセパレーションパッドの交換手順

原稿の重送の頻度が増えてきた場合は、プリセパレーションパッドを交換してください。

1. スキャナーカバーを開けます。
2. プリセパレーションパッドを所定の位置から持ち上げて、パッドを取り外します。

注：プリセパレーションパッドはぴったりと収まっているため、取り外しには多少、力が必要な場合があります。



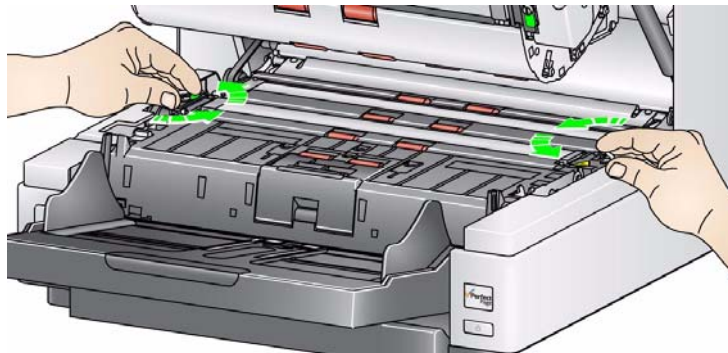
3. 新しいプリセパレーションパッドを取り付けます。カチッと音がして所定の位置に収まったことを確認してください。
4. スキャナーカバーを閉めます。

イメージングガイドの交換手順

イメージングガイドに傷が付きイメージに異常がみられる場合は、イメージングガイドを交換する必要があります。

注：イメージングガイドに指紋がつかないようにしてください。

1. スキャナーカバーを開けます。
2. 下部イメージングガイドの両端にあるネジを回し、イメージングガイドを取り外します。

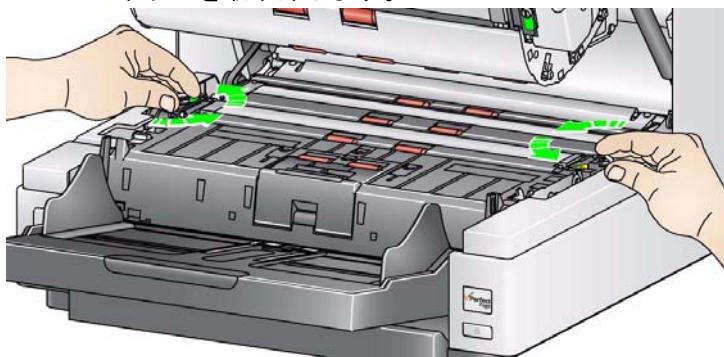


3. 新しいイメージングガイドを取り付け、ネジを回してイメージングガイドを固定します。
4. 手順2～3を繰り返して、上部イメージングガイドを交換します。
5. スキャナーカバーを閉めます。

切替え式ホワイトバックグラウンドストリップの交換方法

切替え式ホワイトバックグラウンドストリップを交換する場合は以下の手順を参照してください。

1. スキャナーカバーを開けます。
2. 下部バックグラウンドストリップの両端にあるネジを回し、バックグラウンドストリップを取り外します。



3. バックグラウンドストリップコネクタを取り外します。
4. 新しいバックグラウンドストリップコネクタをケーブルで接続します。正しく取り付けられていることを確認してください。
5. 新しいバックグラウンドストリップを取り付けて、両端にあるネジを締めます。
6. 上部のバックグラウンドストリップを交換するには同様にステップ2-5を繰り返してください。
7. スキャナーカバーを閉めます。

オプションと消耗品

消耗品を注文する場合は、スキャナーの販売店にご連絡ください。

消耗品	CAT No.
フィーダ交換キット	832 7538
フィーダ交換キットラージパック	838 7938
コダックフィーダ交換キットエクストラ ラージパック	146 2415
コダックイメージングガイドセット (プリンタなし)	834 8054
コダックイメージングガイド (プリンタ付き)	871 4438
コダック切替え式ホワイトバックグラウンド (プリンタなし)	808 8239
コダック切替え式ホワイトバックグラウンド (プリンタ付き)	800 0853
コダックデジタルサイエンストランスポートクリーニングシート (50 枚)	169 0783
コダックデジタルサイエンスローラークリーニングパッド (24 枚)	853 5981
コダックスキャナー用静電クリーニングクロス (144 枚)	896 5519
コダックプリンタインクブロッタ	840 5425
インクカートリッジ (黒)	818 3386
インクカートリッジ (赤)	159 6832
アクセサリ	部品番号*
66.04 cm 延長トレイ (1 個/ボックス)	5E4754
76.2 cm 延長トレイ (1 個/ボックス)	9E3216
86.36 cm 延長トレイ (1 個/ボックス)	9E5277
アクセサリ	CAT No.
コダック薄紙専用フィーダキット	844 5280
プリンタアクセサリ	809 6943
A3 フラットベッドユニット	179 6747

注：品目とカタログ番号は、変更される場合があります。オプションと消耗品の最新のリストは、以下を参照してください。
www.kodak.com/go/scannersupplies。

* これらのパーツは Parts Services からご注文ください。
 米国からは、以下にお電話ください。1-800-431-7278。

6 トラブルシューティング

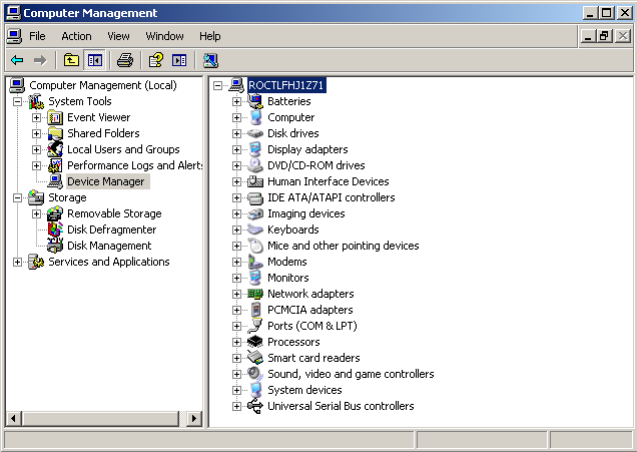
目次

問題解決.....	6-1
インジケータライトとエラーコード	6-3
ソフトウェアのアップグレード.....	6-4
サービスセンターへの問い合わせ	6-4

問題解決

以下の表で、コダック i4000 プラスシリーズスキャナーの使用時に発生する問題の解決方法を確認できます。

問題点	解決方法
紙詰まりが発生している、または、書類が重送する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> すべての原稿がサイズ、重さ、タイプなど、付録 A の「仕様」の要件を満たしている。 ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 すべてのローラとタイヤが清掃され、セパレーションローラとフィードモジュールが適切に取り付けられている。手順については、第 5 章「メンテナンス」を参照してください。 <p>紙詰まりを解消するには：</p> <ul style="list-style-type: none"> フィーダから原稿を取り除きます。 スキャナーカバーを開けます。 紙詰まりしている原稿を探して取り除きます。 スキャナーカバーを両手で閉じ、スキャンを再開します。
U9（紙詰まり）がファンクションウィンドウに表示され、給紙が停止しているが紙詰まりではない。	<p>[デバイス - 一般] タブにある原稿管理で[最長原稿サイズ] オプション (TWAIN データソース) または [スキャナー] タブ (ISIS ドライバ) の [最長原稿] オプションが原稿よりも長い設定になっていることを確認します。デフォルトは 43.2 cm です。</p>
スキャナーが原稿をスキャンまたは給紙しない	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが接続され、電源が入っている。 緑色の LED が点灯している。 スキャナーカバーが完全に閉じられている。 原稿がフィードモジュールに送られ、用紙センサを通過している。 一番下の原稿の余白部分が入力エレベータの用紙センサの上を通過している。 原稿のサイズ、重さ、種類などが仕様に合っている。 原稿が厚い場合、フィード中にギャップリリース切り替えスイッチを切り替えます。 フィードモジュールとセキュリティパレーションローラの磨耗状態を確認して、必要に応じて交換します。 <p>また、スキャナーの電源を一旦切ってから、もう一度入れてみてください。</p>
イメージ品質が悪い、または低下する	<p>スキャナーとイメージングガイドが汚れていないか確認してください。詳細については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。</p>

問題点	解決方法
<p>スキャナーを起動すると、スキャナーとPCの通信の切断を示す0がファンクションウィンドウに表示される</p>	<p>以下を試してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 正常に機能する USB ケーブルで、PC と USB ポートに正しく接続されている。 • ソフトウェアがインストールされている。 • PC がスキャナーを認識している。 <ol style="list-style-type: none"> 1. [スタート]>[設定]>[コントロールパネル]>[管理ツール]>[コンピュータの管理]をクリックして、[コンピュータの管理]ウィンドウを開きます。 2. [デバイスマネージャ]を選択します。  <p>コダック i4200 プラスまたは i4600 プラススキャナーが [イメージングデバイス] の下に表示されます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 3. [操作]>[ハードウェア変更のスキャン]をクリックします。
<p>紙詰まりの誤検出または重送 が起こる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 搬送部が汚れていないか確認します。
<p>35.6 cm 以上の原稿が給紙されない、または詰まる</p>	<p>サイズの大きい原稿に対応できるように、入力エレベータと出力トレイのエクステンションを引き出すか、オプションの延長トレイを使用します。また、6-1 ページの「問題」の「U9」(紙詰まり)を参照してください。</p>
<p>スキャナーの動作が遅すぎる</p>	<ul style="list-style-type: none"> • PC スペックがスキャナーの最低要件を満たしていない場合があります。 • イメージ処理機能の中には、スキャナーの速度が遅くなる機能もあります。 • 解像度 (dpi) の設定が高すぎる可能性があります。 • ウィルス対策アプリケーションが、すべての TIFF または JPEG ファイルをスキャンしている可能性があります。 • ローカルドライブをスキャンしているか確認してください。
<p>スキャン中に原稿が斜めになる</p>	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 入力エレベータのサイドガイドが給紙する原稿に合わせて調整されている。 • 原稿がフィードモジュールに対して垂直に給紙されている。 • ホッチキスやクリップがすべて原稿から取り除かれている。 • フィードモジュール、セパレーションローラ、ドライブローラが汚れていない。 • スキャナーカバーが完全に閉じられている。

問題点	解決方法
スキャナーがスキャン中に長時間休止する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ホストコンピュータのスペックがスキャンの最小要件を満たしている。 • ハードディスクドライブに十分な空き領域がある。 • 他のアプリケーションがすべて終了している。 • USB 2.0 に接続している。 <p>スキャンアプリケーションのスキャンオプション（圧縮など）を変更することもできます。</p>
スキャンした後にローラのマークや筋が原稿につく	フィードモジュール、セパレーションローラ、タイヤを清掃します。詳細については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。
イメージに縦線が現れる	<ul style="list-style-type: none"> • イメージングガイドを清掃してください。詳細については、第 5 章の「メンテナンス」を参照してください。 • [縦縞フィルタ] オプションを有効にするか、強度を高めます。
原稿が重送する	<p>以下を確認してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 原稿がすべてフィーダの中央にセットされ、各原稿がフィードローラに接触するようになっている。 • フィードモジュールとセパレーションローラの汚れや摩耗がない。 • 独特なタイプの原稿は手動給紙している。 • ギャップリリース切り替えスイッチを開いている。
U3 がファンクションウィンドウに表示される	<p>スキャンする原稿が長すぎます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • [デバイス - 一般] タブの原稿管理で[最長原稿サイズ] オプション (TWAIN データソース) または[スキャナー] タブ (ISIS ドライバ) の[最長原稿] オプションが原稿よりも長い設定になっている事を確認します。デフォルトは 43.2 cm です。 • 解像度を下げます。

インジケータライトとエラーコード

緑色で点灯：原稿をスキャン中です。

緑色で短い間隔で点滅：オペレータの操作待ち。

緑色で長い間隔で点滅：スキャナーが省電力モードです。

赤色で点灯：スキャナーエラーを表します。スキャナーカバーが開いている状態などです。

赤色で点灯してから緑色で点滅 — スキャナーが起動中です。

スキャナーを起動すると、赤色と緑色の両方のインジケータライトが点滅します。約 12 秒後、両方のインジケータライトが消えます。緑色のインジケータライトが再び点灯し、ファンクションウィンドウに「1」が表示されると、スキャナーの準備が完了します。ただし、ホストコンピュータがスキャナーを検出するまで、もう 2～3 分かかる場合があります。

ファンクションウィンドウの変化 — スキャナーの待機中、ファンクションウィンドウに表示される青色のバーが上下に変化します。

インジケータ — 以下は、インジケータの表示とLEDインジケータのリストです。

7 セグメントの表示	LED インジケータ	説明
U1	赤	イメージングガイドをチェックしてください
U2	赤	インクカートリッジがありません
U3	赤	原稿が長すぎます
U4		未使用
U5	赤	時間切れです / スキャナーの動作中にスキャナーの USB ケーブルが切断されました / その他
U6	赤	スキャナーカバーが開いています
U7	赤	<ul style="list-style-type: none"> • 入力エレベータの原稿が多すぎます • フィードモジュールが正しく取り付けられていません
U8	緑の点滅	重送によって一時停止しました
U8	赤	重送によって停止しました
U9	赤	紙詰まりまたは搬送路がブロックされています
E コード	赤の点滅	<ul style="list-style-type: none"> • すべてのケーブルが正しく接続されている事を確認してください • 電源を切ってから再度入れてください それでも問題を解決できない場合は、サービスセンターまでお問い合わせください。

ソフトウェアのアップグレード

コダックでは問題の修正と新機能の追加のため、ドライバとファームウェアを随時アップデートしています。エラーコードなどが表示されたら、サービスセンターに連絡する前に、最新のドライバにアップグレードしてください。www.Kodak.com/go/disupport の **i4000 プラスのソフトウェアとドライバ** にアクセスして、最新のドライバをダウンロードしてください。

サービスセンターへの問い合わせ

1. 国内のお問い合わせは、0120-085580 までお願い致します。
2. お電話の際は、次の情報をお手元にご用意ください。
 - 障害の内容
 - スキャナーのモデル名とシリアル番号
 - コンピュータの構成
 - お使いのスキャンアプリケーション

付録 A 仕様

スキャナーの種類/速度	<ul style="list-style-type: none"> • i4200 プラススキャナー:自動ドキュメントフィーダーを備えた両面カラーレスキャナー、200 / 300 dpi (白黒/グレースケール/カラー) で 100 枚/分 (横方向) • i4600 プラススキャナー:自動ドキュメントフィーダーを備えた両面カラーレスキャナー、200 / 300 dpi (白黒/グレースケール/カラー) で 120 枚/分 (横方向)
スキャンテクノロジー	デュアル CCD
出力解像度	100、150、200、240、300、400、600 dpi
出力ファイル形式	TIFF、JPEG、PDF (バンドルソフトウェア付き)
スキャン領域	最大 30.5 x 330.2 cm のエリアをスキャン可能 詳細については、「システム要件」を参照してください。
フィーダ積載枚数	500 枚
一日の推奨処理枚数	i4200 プラス : 30,000 枚/日 i4600 プラス : 50,000 枚/日
光源	LED
電源要件	AC 100 ~ 240 V (海外対応)、50/60 Hz
外形寸法	高さ : 34.94 cm 幅 : 46.0 cm 奥行き : 46.7 cm
重量	34.28 kg
インターフェース	高速 USB 2.0
使用環境温度	15°C ~ 35°C 10°C ~ 35°C
湿度	相対湿度 : 15 ~ 80%
環境要因	Energy Star 認証スキャナー
消費電力 - スキャナー	省電力時 : <3 W 稼動時 : <85 W オフ : <0.5 ワット
騒音レベル (音響出力)	動作 : 66 dB 未満 オフモードまたは待機モード : 51 dB 未満
消費電力 - A3 フラットベッド接続時	スリープモード : <6 W 稼動時 : <70 W
電氣的定格	1/N/PE ~ 100 -240 VAC 1.0 - 0.5 A 50/60 Hz

システム要件

コダック i4000 シリーズスキャナーの使用に推奨するシステム構成は以下のとおりです。

- PC : Intel Core i5、3 GHz 以上
- USB ポート 2.0 (高速)
- 3 GB 以上の RAM
- サポートされているオペレーティングシステム :
 - Microsoft Windows XP (Home および Professional)、SP2 以降
 - Microsoft Windows XP Professional x64 Edition、SP2 以降
 - Microsoft Windows Vista、SP1 以降
 - Microsoft Windows Vista x64 Edition
 - Microsoft Windows 7 (Home および Professional)
 - Microsoft Windows 7 x64 Edition (Home および Professional)
 - Microsoft Windows 8 (32/64 bit)

同梱のドライバ :

- Windows オペレーティングシステム : TWAIN、ISIS、WIA

付録 B 保証 一米国、カナダ限定

コダックスキャナーをご購入いただき、ありがとうございます。コダックスキャナーは、お客様に最高レベルのパフォーマンスと信頼性をお届けします。すべてのコダックスキャナーは次の限定保証の対象となります。

コダックスキャナーの限定保証

イーストマンコダック社は、コダックまたはコダック認定小売チャネルを通じて販売された、コダックスキャナー（部品および消耗品を除く）に次の限定保証を適用します。

コダックは、販売時から製品に適用される限定保証期間内において、コダックスキャナーの材料および製造上の欠陥がなく、特定のコダックスキャナーに該当するパフォーマンス仕様に準拠することを保証します。

すべてのコダックスキャナーには以下の保証除外規定が適用されます。欠陥がある、または製品仕様に準拠していないコダックスキャナーは、コダックの判断により、修理、新製品または代替製品と交換されます。

購入者は、電話 (800-822-1414) または当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/warranty) で、購入したコダックに適用される限定保証期間を確認できます。また、この保証期間はコダックスキャナーに同梱されている限定保証の概要のカードにも記載されています。

保証によるサービスを受けるには、購入を証明する書類が必要となります。

保証の除外

コダックの限定保証は、災害、事故、不可抗力、輸送などの原因によって、購入後にコダックスキャナーがこうむった物理的損害には適用されません。これには、次の場合が含まれます。(a) コダックにスキャナーを送り返す際に、その時点で最新のコダックの梱包と輸送のガイドラインにしたがってスキャナーを梱包および輸送しなかったために損害が生じた（発送前に輸送中の損害を防ぐ手段を講じなかった、または、使用前にこれらの手段を取り外さなかった場合を含む）。(b) ユーザのオペレーティングシステムまたはアプリケーションソフトウェアのインストール、システム統合、プログラミング、または再インストール、製品またはコンポーネントのシステムエンジニアリング、移動や廃棄、データの再構築によって損害が生じた（コネクタ、カバー、ガラス、ピン、シールの破損を含む）。(c) コダック、またはコダックの正規修理店以外によってサービス、変更、または修理が行われた、または、製品の改造、コダック製品の模造コンポーネントやコダック社製以外のコンポーネント、アセンブリ、アクセサリ、モジュールの使用によって損害が生じた。(d) 誤用、妥当な範囲外の製品の扱いやメンテナンス、手荒な扱い、使用者のミス、適切な監督やメンテナンスを行わなかった（推奨されている手順や仕様に逆らった、コダックの承認しないクリーニング用品やその他のアクセサリに使用を含む）ことによって損害が生じた。(e) 環境的な条件（過度な高温や、その他の不適切な物理的稼働環境）、腐食、しみ、製品外での電気配線、静電気放電 (ESD) 保護を行わなかったことによって損害が生じた。(f) 製品に対して提供されているファームウェアの更新やリリースをインストールしなかったために損害が生じた。(g) その他の随時追加される除外項目によって損害が生じた。これらの追加項目はオンライン (www.Kodak.com/go/warranty) または電話 (800-822-1414) で確認可能。

コダックでは、米国以外の国で購入された製品に対しては、限定保証を提供していません。米国外の流通経路から製品を購入した場合は、購入元によって保証が行われます（該当する場合）。

コダックでは、サードパーティの製品、コンピュータシステム、またはその他の電子機器の一部として購入された製品に対しては、限定保証を行いません。

これらの製品に対する保証は、OEM (Original Equipment Manufacturer) により、このメーカーの製品やシステムの一部として提供されます。

製品を交換した場合の限定保証の期間は、欠陥のあった元の製品に適用される期間か、30 日のうち、長い方となります。

設置に関する警告と断り書き

コダックでは、原因の如何を問わず、この製品の販売、設置、使用、修理、または機能障害に起因する結果的または偶発的な損害について、いかなる責任も負いません。これらのコダックが保証責任をもたない損害には、収入や利益の損失、データの損失、ダウンタイムの費用、製品の使用の損失、当製品を置換する製品のコスト、設備やサービス、および顧客によるこれらの損害に対する要求を含み、また、これに限られたものではありません。

この付録の条項と、限定保証の条項間に矛盾がある場合は、限定責任の条項が優先されます。

限定保証によるサービスを受けるには

コダックスキャナーには、開梱、セットアップ、設置、操作に関する情報が付属しています。ユーザーズガイドを注意して読めば、製品の適切な設置、使用、メンテナンスに関し、ほとんどの技術的情報が得られるはずですが、ユーザーズガイドを参照しても不明の場合は、当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/disupport) にアクセスしていただくか、以下までお問い合わせください。

コダックサポートセンター：(800) 822-1414

サポートセンターは、休日を除く月曜日から金曜日の午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

お問い合わせになる前に、該当する購入者はコダックスキャナーのモデル番号、パーツ番号、シリアル番号、購入を証明できるものをご用意ください。また、問題について説明できるように、情報を整理しておいてください。

サポートセンターの担当者は、ユーザが問題を解決できるように、電話でお手伝いします。場合によっては、いくつかの簡単な自己診断テストを実行して、結果のステータスやエラーコードのメッセージを伝えるように求められることがあります。これは、問題がコダックスキャナーにあるかまたは別のコンポーネントにあるのか、問題を電話で解決できるか、サポートセンターでの判断に役立つためです。サポートセンターが、ハードウェアの問題が限定保証や購入されたメンテナンスサービスの範囲であると判断する場合は、必要に応じて RMA 番号 (Return Material Authorization Number) が発行されます。その後、サービスのリクエストが発行され、修理か交換が行われます。

梱包と輸送のガイドライン

購入者は、保証が適用される製品を返送する場合、製品が輸送中に損傷しないように、十分な梱包を行ってください。梱包が十分でなかった場合、コダックスキャナー保証が無効になります。製品の保管や輸送のために、元の箱や梱包を保管しておくことをお勧めします。コダックでは、輸送中の損傷に関連する問題については責任を負いません。購入者はコダックスキャナーのみを返品してください。発送の前に、すべての追加のアイテム（アダプタ、ケーブル、ソフトウェア、マニュアルなど）を取り外して、保管しておいてください。コダックはこれらの品目について責任を負わず、修理または交換したコダックスキャナーと一緒に返送されません。すべての製品は、元の梱包、または返品するユニットに対して承認された梱包を使用して、コダックに返送してください。購入者はコダックスキャナーを発送する前に、梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品のパーツ番号と注文方法を問い合わせてください。

返送の手順

本限定保証の対象となるコダックスキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800)822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から 10 営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、コダックスキャナーをエンドユーザの送料および保険料負担で RMA で指定する宛先まで発送するものとします。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

顧客の責任

サービスの要求を行うことによって、限定保証の対象となる購入者は、限定保証の条件（断り書きと限定保証の条項を含む）に合意したものとみなされます。サービスを受けるまえに、ユーザは損傷を受ける、または損失される恐れのあるデータやファイルをすべてバックアップしてください。コダックでは、失われた、または損傷を受けたデータやファイルに対し、何ら責任を負いません。

保証サービスの説明

イーストマンコダック社（コダック）は限定保証をサポートし、コダックスキャナーの使用および取り扱いを支援する（サービス方法）、さまざまなサービスプログラムを提供しています。コダックスキャナーは重要な投資です。コダックスキャナーは、競争力を維持するために必要な生産性を発揮します。たとえ一時的であっても、この生産性を失うと、ビジネスに支障が生じる場合があります。ダウンタイムは、修理費だけでなく、時間を失ったという意味でも、非常に高価なものになりえます。これらの問題を避けるために、コダックでは限定保証の遂行にあたり、製品タイプによって、以下にあげるサービス方法のいずれかを使用します。

選択したコダックスキャナーには限定保証登録カードと限定保証概要カードが付属しています。このカードは、モデルごとに異なります。限定保証の概要カードには、モデル番号と限定保証を含む、重要な保証に関する情報が記載されています。特定のコダックスキャナーに適用されるサービス方法を判断するには、限定保証概要カードを参照してください。

限定保証登録カード、または限定保証の概要カードが見つからない場合、製品に関する情報（最新の保証やサービスプログラムに関する情報や制限を含む）は、オンライン (www.Kodak.com/go/disupport) または電話 (800-822-1414) で入手できます。

サービスの遅延を避けるために、限定保証登録カードをできるだけ早く返送してください。限定保証登録カードが同梱されていない場合は、オンライン (www.Kodak.com/go/disupport) または電話 (800-822-1414) でも登録を行えます。

コダックはまた、コダックスキャナーの使用と取り扱いを支援するために購入できるサービスプログラムも提供しています。

コダックでは、限定保証によってお客様に、品質、パフォーマンス、信頼性、そしてサービスをお届けするべく、努力しています。当社は、製造終了後、最低 5 年間はスペア部品と消耗品を供給いたします。

出張サービス

選択したコダックスキャナーに対して、サポートセンターがハードウェアプログラムを確認した場合、サービスコールが作成され、記録されます。製品がアメリカ合衆国の 48 州、またはアラスカとハワイの一部の地域にあり、技術者がスキャナーにアクセスするにあたってセキュリティ上、安全上、または物理的な制限のない場合は、コダックの技術者が製品のある場所に派遣されて、修理が行われます。サービスが提供されている地域の詳細については、当社の Web サイト (www.Kodak.com/go/docimaging) を参照してください。出張サービスは、休日を除く、月曜日から金曜日までの現地時間で午前 8 時から午後 5 時の間に実施されています。

AUR

AUR は、業界で提供されているサービスの中で、もっとも簡単で、包括的なものといえるでしょう。万が一製品に欠陥があった場合、特定のコダックスキャナーの該当する購入者に対し、コダックは 2 営業日以内に製品を交換します。

AUR では特定の障害または破損のあるコダックスキャナーについて、事前に交換を行います。AUR を利用するには、対象となる購入者は RMA 番号を取得し、アドバンス交換合意書に署名し、交換用製品を確保するためのクレジットカードへの課金に了承します。RMA 番号は、交換のための製品を確認しなければならない場合のために、大切に保管してください。対象となる購入者は、交換のための製品の郵送先住所を尋ねられます。また、故障した製品の返品のために、梱包と発送に関する指示がファックスで送信されます。サービスのリクエストが始まり、コダックが署名された合意書を受け取ってから 2 営業日以内に、交換用の製品が届けられます。故障した製品は、ユーザが交換用製品を受け取ってから 10 日以内にコダックに届けられる必要があります。この期日を過ぎると、交換用製品の標準価格がユーザのクレジットカードに課金されます。交換用製品の発送にあたっては、コダックが送料を負担し、輸送手段を選択します。コダックの指示や、コダックが希望する輸送業者以外を使って発送が行われた場合、限定保証は無効になることがあります。

製品をコダックに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。故障した製品の返送には、交換用製品に使われていた箱と梱包を使用してください。故障した製品が、交換用製品に使われていた箱と梱包で返送されなかった場合、限定保証は無効になることがあります。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

ディーポサービス

コダックスキャナーがアドバンス交換またはオンサイトサービスの対象外の場合、該当する購入者はディーポ修理サービスを利用できません。対象となる購入者は、最寄の正規ディーポ修理センターに製品を送るように指示されます。修理センターまでの輸送の費用は購入者が負担し、輸送中の破損などについては購入者が責任をもつものとします。製品を修理センターに返送する前に、限定保証でカバーされていない、すべてのオプションやアクセサリ（電源コードやマニュアルを含む）を取り外してください。すべての製品は、元の梱包、または推奨されている箱を使用して、コダックに返送してください。コダックスキャナーは、発送前に梱包材を取り付けてください。元の梱包がない場合は、コダックのサポートセンター（電話：800-822-1414）に、新しい梱包用品の注文方法を問い合わせてください。コダックスキャナーのサービスを受けられる購入者は、(800) 822-1414 に連絡して返品認証番号（「RMA」）を取得し、RMA の発行から（10 営業日以内にコダックの現行の梱包と輸送のガイドラインに従い、コダックスキャナーをエンドユーザの送料および保険料負担で RMA が指定する宛先まで発送するものとします。故障した製品が適切に受理されるように、RMA (Return Material Authorization) 番号を箱の外側にはっきりと書いてください。

製品の受理後、修理センターは製品を 10 営業日以内に修理します。修理された製品は、2 日以内に配送されるエクスプレス便で購入者に返送されます。購入者はこの送料を負担する必要はありません。

重要な制限

資格：アドバンス交換プログラムおよびディーポサービスは米国 50 州の該当する購入者が利用でき、オンサイトサービスは隣接した 48 州、アラスカおよびハワイの特定の領域でコダックの認定ディストリビュータから購入した製品に対して利用できます。コダックスキャナーは、購入者がコダックのその時点で有効な梱包および発送のガイドラインに従って欠陥のある製品を返送しなかった場合など、製品がコダックのその時点で有効な保証除外規定を満たさない場合、保証内のいかなるサービスも受けられません。購入者は、コダックスキャナーを個人またはビジネス目的で購入し、再販目的ではない場合に「該当する購入者」または「エンドユーザ」とみなされます。

消耗品：消耗品は、通常の使用において消費され、必要に応じてエンドユーザによって交換される品目です。消耗品や備品など、および、ユーザズガイドでユーザの責任であると述べられているアイテムは、限定保証の対象とはなりません。

上記の除外される部品やサービスは、正規サービス店が独自の条件と料金で提供しています。

コダックが交換した製品や部品は、コダックの所有となります。

コダックの連絡先

コダックスキャナーに関する情報：

Web サイト：www.Kodak.com/go/docimaging

米国内の電話によるサービス、修理、技術サポート

電話によるテクニカルサポートは、休日を除く月曜日から金曜日まで、午前 8 時から午後 5 時まで営業しています。

電話番号：(800) 822-1414

技術文書と FAQ (24 時間)：

Web サイト：www.Kodak.com/go/docimaging

サービスプログラム情報：

Web サイト：www.Kodak.com

電話番号：(800) 822-1414

Kodak Alaris Inc.
2400 Mount Read Blvd.
Rochester, NY 14615
© 2013 Kodak Alaris Inc.
All rights reserved.



コダックの商標およびトレード
レスはイーストマンコダック社の
許可を受けて使用しています。